

平成 24 年 度

佐 賀 大 学

学 生 募 集 要 項

— 一 般 入 試 —



出願期間		文化教育学部 経 済 学 部 医 学 部 理 工 学 部 農 学 部	平成24年 1 月23日(月)～ 2 月 1 日(水)
試験日	前期日程	文化教育学部 経済学部 理工学部 農学部	平成24年 2 月25日(土)
		医学部	平成24年 2 月25日(土)～ 2 月26日(日)
	後期日程	文化教育学部 経済学部 理工学部 農学部	平成24年 3 月12日(月)
		医学部	平成24年 3 月12日(月)～ 3 月13日(火)

佐 賀 大 学

☎ 0952-28-8178

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

入試関係ホームページ <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

入試関係メールアドレス nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp

目 次

I	佐賀大学憲章	1
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
III	募 集 要 項	
1	学部、学科・課程等及び募集人員等	27
2	出 願 資 格	28
3	出 願 期 間	28
4	出願に必要な書類等	28
5	出 願 方 法	30
6	入 試 方 法	30
7	医学部医学科一般入試「長崎県奨学金」について	47
8	試験日程・試験科目及び時間	48
9	事前相談を要するみなさんへ	51
10	試験場及び集合時刻等	52
11	合格者の発表	53
12	入 学 手 続	53
13	欠員の補充方法	54
14	入学許可の取消し	54
15	注 意 事 項	54
16	受 験 者 心 得	55
17	入学志願票等の記入上の注意及び記入例（前期日程用）	56
18	入学志願票等の記入上の注意及び記入例（後期日程用）	58
19	請求により本人に開示される個人情報	60
20	過去3か年の志願者等状況	61
21	入試情報の提供	64
22	佐賀大学予約型奨学金（かささぎ奨学金）について	65
IV	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	66
V	平成25年度以降の入学者選抜方法の変更〔予告〕	69
VI	添 付 書 類（各日程の封筒に同封）	
	・検定料振込依頼書	（様式前1－1，様式後1－1）
	・検定料振込証明台紙	（様式前1－2，様式後1－2）
	・入学志願票	（様式前2，様式後2）
	・写真票	（様式前3，様式後3）
	・受験票	（様式前4，様式後4）
	・履歴書（医学部志願者用）	（様式前5，様式後5）
	・住所届	（様式前6，様式後6）
	・入学志願票等在中封筒	
	・受験票等在中封筒	
	・写真用シール	

この募集要項のほか、本学では「私費外国人留学生入試」用の募集要項を別冊で作成しております。

この要項が必要な場合は、封筒の表面に「私費外国人留学生入試募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角形2号封筒にあて先を明記し、270円切手を貼り付けたもの。）を同封の上、佐賀大学学務部入試課へ請求してください。

試験実施日程等（一般入試）

本学の一般入試は、全学部の学科・課程で入学定員を分割し、〔前期日程〕及び〔後期日程〕の両試験日程でそれぞれ入学者を募集し、試験を実施します。

なお、学力検査は、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の組合わせにより実施します。

〔前期日程〕と〔後期日程〕で入試方法等が異なるので、本募集要項を熟読の上、間違いのないように出願手続きを行ってください。

前期日程	出願期間		平成24年 1 月23日(月)～ 2 月 1 日(水)
	試験日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成24年 2 月25日(土)
		医学部	平成24年 2 月25日(土)～ 2 月26日(日)
	合格者発表日		平成24年 3 月 6 日(火) 14時
	入学手続期間		平成24年 3 月12日(月)～ 3 月15日(木)
後期日程	出願期間		平成24年 1 月23日(月)～ 2 月 1 日(水)
	試験日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成24年 3 月12日(月)
		医学部	平成24年 3 月12日(月)～ 3 月13日(火)
	合格者発表日		平成24年 3 月21日(水) 14時
	入学手続期間		平成24年 3 月24日(土)～ 3 月27日(火)

I 佐賀大学憲章

平成18年3月15日 制定

佐賀大学は、これまでに培った文，教，経，理，医，工，農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし，豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に，地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して，ここに佐賀大学憲章を宣言します。

魅力ある大学

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

教育先導大学

高等教育の未来を展望し，社会の発展に尽くします

研究の推進

学術研究の水準を向上させ，佐賀地域独自の研究を世界に発信します

社会貢献

教育と研究の両面から，地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

国際貢献

アジアの知的拠点を目指し，国際社会に貢献します

検証と改善

不断の検証と改善に努め，佐賀の大学としての責務を果たします

Ⅱ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成，専門知識・技術の修得，そして基礎から実用開発にいたるまで，能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は，高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること，地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること，国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は，チャレンジ精神を持ち，問題を自発的に探求・解明し，社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

各学部の入学者受入れの方針

文 化 教 育 学 部

学 校 教 育 課 程

<入学者受入れの方針>

入学者選抜にあたっては公平性と多様性を理念とし、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかをみるため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【1. 求める学生像】

小学校の全教科に関する学習と、専門分野（教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽のいずれか）の学習に興味と意欲を持つ学生を求めます。

幅広い基礎的学力や技能を備え、学校教育の諸問題や各教科の教育について熱意を持って学ぶことにより、小学校の教員、さらには中学校・高等学校などの教員を目指す学生を求めます（なお、卒業にあたっては小学校教員一種免許状取得の要件を完全に満たす必要があります）。

【2. 入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②特別入試（推薦入試（教科教育選修）およびAO入試（音楽選修））、③私費外国人留学生入試、による選抜を行います。
2. 一般入試では、大学入試センター試験のほか、個別学力検査（前期日程）もしくは小論文・面接・実技検査のいずれか（後期日程）を課します。特別入試では小論文、面接、及び実技検査を課します。私費外国人留学生入試では日本語（作文）・実技検査のいずれかと面接を課し、日本留学試験及びTOEFLの成績と合わせて入学者を選抜します。
3. 大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目に関する教科書レベルの基礎的な知識を有しているかを評価します。個別学力検査では、国語、数学、英語のいずれかについて幅広く基礎的な知識を有しているかを評価します。小論文では、幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、自分の考えを日本語で他者からも分かり易く文章表現ができるかを評価します。面接では、相手の意見を理解し自分の考えを相手に正しく伝えることができるかどうかを評価します。実技検査では、当該分野における基礎的な技量が身につけているかどうかを評価します。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現することが必要です。実技検査を実施している選修においては、当該分野における基礎的な技量を修得しておくことを求めます。

国 際 文 化 課 程

<入学者受入れの方針>

国際的な広い視野を持った、自立し社会に貢献できる人材を確保・育成するために入学者選抜を行います。

【1. 求める学生像】

国際文化課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

1. 国際的な広い視野からものごとを考え、学び、それを将来自分や社会のため活かそうという志を持つ人
2. 外国語を含む言語運用能力およびそれを活用したコミュニケーション能力の修得に意欲を持つ人
3. 日本やアジア、欧米の言語・文化・歴史・社会等について学び、海外の大学への留学、公務員・旅客業・情報通信業・金融保険業など国際的な視野を必要とする業種への就職、中学校・高等学校の国語科・社会科・英語科の教員を志望する人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために、複数の選抜方法を実施します。
 - ①一般入試（前期日程・後期日程）、②推薦入試、③私費外国人留学生入試、④3年次編入学試験による選抜を行います。
2. 本課程の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
 - ①大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い、一般入試（後期日程）では、文化や社会への理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。
 - ②推薦入試では、学業成績や修学状況、思考力・表現力、勉学意欲、国際社会への問題意識等を総合的に評価するために、書類審査による第一次選考と、面接及び小論文による第二次選考を行います。
 - ③私費外国人留学生入試では、入学後の学習に必要な日本語能力を問い、意欲や適性について判断するために、日本留学試験及び TOEFL の成績に加えて、面接及び日本語試験（作文）を行います。
 - ④3年次編入学試験は、入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、書類審査と小論文試験および外国語試験（英語）を行います。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

国際文化課程における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修するすべての教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に、国語、英語の基礎的な学力と応用力のある幅広い知識を有していることが求められます。

人間環境課程〔生活・環境・技術選修〕

＜入学者受入れの方針＞

地域、生活、文化あるいは環境という多様な視点をもって、将来の日本と地域社会の発展に貢献することができる人材を確保・育成するため、公平性・多様性および価値尺度の多面性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、入学者選抜を行います。

【1. 求める学生像】

教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

1. 幅広い教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会、人間の文化に強い関心を持っている人
2. 「1」に示す領域に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけていく意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために、複数の選抜方法を実施します。
 - ①一般入試（前期日程・後期日程）、②推薦入試、③私費外国人留学生入試、④3年次編入学試験による選抜を行います。
2. 本選修の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
 - ①一般入試（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行います。一般入試（後期日程）では、理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。
 - ②推薦入試

学業成績や修学状況、思考力・表現力、勉学意欲、社会と環境問題への意識等を総合的に評価するため、書類審査による第一次選考と、面接及び小論文による第二次選考を行います。
 - ③3年次編入学試験

入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、推薦では小論文及び面接、一般では外国語・小論文及び面接を行います。
 - ④私費外国人留学生入試

入学後の学習に必要な日本語能力を問い、意欲や適性について判断するため、面接及び日本語（作文）を課します。

日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年間の課程を修了し、日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者を入学要件とします。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

本選修における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有していることが重要です。

人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕

<入学者受入れの方針>

入学者選抜にあたっては、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかをみるため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【1. 求める学生像】

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養・基礎学力を持ち、体育・スポーツ指導能力を磨く学生や、健康福祉専門職を目指す学生、またそのためのスポーツ実習や健康福祉の実践実習に意欲を持つ学生を求めます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③AO入試、④私費外国人留学生入試、⑤3年次編入学試験による選抜を行います。

①一般入試

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い、一般入試（後期日程）では、健康、福祉、スポーツへの理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。

②推薦入試

スポーツ分野に関する実績及び幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、スポーツ分野に関する基礎的な知識を有して、その基礎的な技量を問うために、書類審査による第一次選考と、小論文、面接、実技による第二次選考を行います。

③AO入試

高い学業成績と自己表現力並びに、スポーツに関する基礎的な知識を有して、自分の考えを相手に正しく伝える力を問うために、書類審査による第一次選考と、面接による第二次選考を行います。

④私費外国人留学生入試では、入学後の学習に必要な日本語能力を問い、意欲や適性について判断するために、日本留学試験及び TOEFL の成績に加えて、面接及び日本語試験（作文）を行います。

⑤3年次編入学試験は、入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、外国語および面接を行います。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できること、また、健康福祉・スポーツ分野に関する基礎的な知識や技量を修得しておくことが必要です。

美術・工芸課程

<入学者受入れの方針>

教育目標を達成するために、公平性・客観性・開放性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、以下の方針の下に入学者を受け入れます。

【1. 求める学生像】

美術・工芸課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

日本画、西洋画、彫刻、デザイン、窯芸、木工工芸、染織工芸、金工工芸、美術理論・美術史及び美術教育の各分野に興味と意欲をもっている者。また、基礎的学力や技能を備え、制作・学習に意欲的に取り組み、表現や理論的な思考などの能力を自ら育てようとする熱意を持って学び、優れた教育者や専門家、企業人などを目指す者。

【2. 入学者選抜の基本方針】

選抜趣旨

高校までに修得すべき知識および美術・工芸の技能を保持し、なおかつ美的感性にすぐれ、意欲があると判断される者を選抜します。

一般入試

入学要件は、出願資格を満たし、大学入試センター試験を受験したうえで、前期日程・後期日程の個別学力検査（実技検査）を出願・受験して合格した者。選抜は、美術・工芸課程が定めた配点により、大学入試センター試験と個別試験を総合的に評価して実施します。大学入試センター試験では、高校までに修得すべき知識や応用力を選抜の基準とします。また、個別学力検査（実技検査）では、技能、独創性、将来性、意欲を選抜の基準とします。

推薦入試

入学要件は、出願資格を満たし、高等学校長から責任をもって推薦され、合格した場合は確実に入学できる者。選抜は、書類（調査書および推薦書）による第1次選考を経て、面接および実技検査による第2次選考により行う。評価は、学業成績や修学状況、技能、意欲・将来性、美術・工芸分野における実績、当該分野の成績等をみて総合的に実施します。

私費外国人留学生入試

入学要件は、日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年の課程を修了し、日本留学試験及びTOEFLを受験済みの者。選抜は、面接及び実技検査による。評価は、日本留学試験及びTOEFLの成績と、面接及び実技検査の成績から総合的に実施します。面接及び実技検査では、知識、技能、独創性、将来性、意欲、応用力、美術・工芸分野における実績を選抜の基準とします。

3年次編入学試験（一般）

入学要件は、出願資格を満たした者で、面接および実技試験の結果に優れた者。面接では、学業成績とともに、美術・工芸についての実績や意欲を、また、実技検査では、技能、独創性、将来性、意欲、応用力を選抜の基準とします。

【3. 高等学校で修得すべき内容・水準】

一般入試（センター試験／実技）

高等学校で履修したすべての教科・科目について，教科書レベルの基礎的な知識を有していること。美術について基礎的な技量を有していること。

推薦入試（書類審査／面接・実技）

美術・工芸分野に優れた実績を有していること。美術・工芸に関する基礎的な知識を有して，相手の意見を理解し，自分の考えを相手に正しく伝えることができること。美術・工芸について基礎的な技量を有していること。

経 済 学 部

＜入学者受入れの方針＞

教育方針を実施するため、以下のような方針に基づき入学者を選抜します。

【1. 求める学生像】

経済学部では以下のような考えや目的をもった学生を求めています。

1. 社会や経済における課題を発見し解決する能力を身につけ、企業や自治体などでの活動を通じて社会に貢献したいと考える人
2. 高度な専門知識を身に付け、経済・経営・法律の分野で専門職業人となることを目指す人
3. 社会の変化に対応するために生涯にわたって学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学習能力を大学で得たいと考えている人

【2. 入学者選抜の基本方針】

一般入試

前期日程と後期日程のいずれにおいても大学入試センター試験を課しています。このことによって、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力をもっているかを判断します。また個別学力検査は、前期日程では英語、後期日程では小論文の試験をおこない、社会科学の専門知識を得るための語学力や読み書きの能力をもっているかをみます。

推薦入試

普通科系の生徒を対象にした入試と商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象とした入試があります。1次選考では、調査書によって高等学校での学習の達成度をみます。2次選考では、小論文で社会科学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する能力をはかり、口頭試問によって学ぶ意欲などをみます。

商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした入試では簿記検定などの検定合格や資格取得といった経済学の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

日本語試験と日本語による口頭試問を行い、「日本留学試験」の結果とあわせて、専門知識が習得できる学力と日本語能力をもっているかを判断する入試をおこないます。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

経済システム課程と経営・法律課程に共通して以下のことを求めます。

①知識と理解

1. 社会で生起している問題を理解するためには幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって、高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得していることが大切です。
2. 大学での勉学を有意義なものとするには、事実や意見などの情報を読み解き、考えをまとめる国語と英語の学力を身につけておくことが大切です。
3. 専門高等学校から進学する方には、普通科目の勉学だけでなく商業科目の基本的な知識と技能を確実に習得しておくことが大切です。

②意欲と関心

社会で生起している問題に関心をもち、自らの興味の所在や考え方をまとめようとする姿勢をもつことが大切です。

医 学 部

医 学 科

<入学者受入れの方針>

医学部の基本理念に基づき、医学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像、入学選抜の基本方針を示します。

【1. 求める学生像】

本医学科の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

1. 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
2. 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
3. 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
4. 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
5. 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、多様な選抜方法を実施します。

①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試、④帰国子女特別入試、⑤私費外国人留学生入試による選抜を行っています。

2. 医学を学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。

①一般入試（前期日程）及び⑤私費外国人留学生入試では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、また、卒業後医療に従事する際に必要な問題解決、論理的思考、表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか、を問うための総合問題試験、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試及び④帰国子女特別入試では、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決する学力・能力を問うための総合問題による筆記試験を行っています。

3. 医学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。

すべての選抜試験において、医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。

4. 学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

選抜試験の種類により、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験、調査書、高等学校長の推薦書、自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが、これらを総合

的に評価して最終的な合格者を決定しています。また、全ての選抜試験に面接試験を課しており、特に、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試（前期日程，後期日程）

前期日程は，大学入試センター試験，総合問題試験，面接試験及び調査書，後期日程は，大学入試センター試験，面接試験，自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書，調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し，第二次選考は，第一次選考合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③佐賀県推薦入学特別入試

佐賀県による第一次選考及び本学部による第二次選考により合格者を決定します。第二次選考は，第一次選考に合格し佐賀県から推薦を受けた者に対し，総合問題試験を課し，面接を行い，佐賀県からの推薦理由等を総合的に判断して，最終的な合格者を決定します。

④帰国子女特別入試

二段階選考により合格者を決定します。書類選考による第一次選考を行い，第一次選考の合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

⑤私費外国人留学生入試

二段階選考により合格者を決定します。「日本留学試験」の成績，TOEFL の成績及び出願者の提出書類による書類審査で第一次選考を行い，第一次選考の合格者を決定します。第二次選考は，第一次選考合格者に対し，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果を総合して最終的な合格者を決定します。

【3．高等学校段階で修得すべき内容・水準】

医学科における「6年間にわたる医学教育（カリキュラム）」を確実に身に付けていくためには，高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については，生物，物理，化学の基本的な知識と理解を有していることが望まれます。

看護学科

<入学者受入れの方針>

医学部の基本理念に基づき、看護学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像，入学選抜の基本方針を示します。

【1. 求める学生像】

看護学科では次のような人を求めています。

1. 人間に関心を持ち，人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
2. 豊かな感性と表現力を身につけている人
3. 相手の立場に立って，柔軟に物事を考えられる人
4. 看護職に夢を持ち，理想とする看護職者を目指そうとする人
5. 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
6. 生涯を通して，看護学や医療について勉学する意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として，次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために，多様な選抜方法を実施します。

①一般入試（前期日程，後期日程），②推薦入試，③社会人特別入試，④3年次編入学入試による選抜を行っています。

2. 本看護学科の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。

①一般入試では，提示された課題について，論理的な思考力や適切な表現力によりの確に記述する力を有しているか，を問うための小論文，②推薦入試では，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性および種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題試験，③社会人特別入試および④3年次編入学入試では，英語，看護専門基礎分野および看護専門分野の基礎的知識に加え，思考力，判断力等を問うための総合問題による筆記試験を行っています。

3. 看護学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。

すべての選抜試験において，看護学科志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているか，を判断するための面接試験を行っています。

4. 学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

選抜試験の種類により，大学入試センター試験，総合問題試験，面接試験，調査書，高等学校長の推薦書，自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが，これらを総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。また，全ての選抜試験に面接試験を課しており，特に，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試（前期日程，後期日程）

前期日程は，大学入試センター試験，小論文試験，面接試験及び調査書，後期日程は，大学入試センター試験，面接試験，自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書，調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し，第二次選考は，第一次選考合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③社会人特別入試

総合問題試験を課し，面接を行い，その結果を総合して入学者を決定します。

④3年次編入学入試

総合問題試験を課し，面接を行い，その結果を総合して入学者を決定します。

【3．高等学校段階で修得すべき内容・水準】

看護学科における「4年間にわたる看護学教育」を確実に身に付けていくためには，高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については，生物，物理，化学の基本的な知識を理解していることが望まれます。

理 工 学 部

＜入学者受入れの方針＞

【1. 入学者選抜の基本方針】

教育目標を達成するために、以下の方針のもとに、客観性、公平性、開放性を旨とした多様な入試方法により、入学後の教育に必要な学力と意欲を多面的に判定し、入学者を受入れます。

【2. 基本理念および教育目的・目標・方針】

理工学部は、理学系の数理科学科、物理科学科、工学系の機械システム工学科、電気電子工学科、都市工学科および理学と工学が融合した知能情報システム学科、機能物質化学科の7学科より構成されており、基礎に強い技術者、応用に強い科学者を育て、社会に送り出しています。

近年、科学技術の進歩は急速で、産業界のみならず人々の生活にも大きな影響を与えています。科学技術の恩恵を受け、私たちの暮らしは便利で豊かになってきていますが、一方で、地球環境問題など様々な弊害も現れています。そのため、これからの科学・技術者は、地球規模の視野に立った社会的責任を自覚し、科学技術の進展に貢献する責任があります。こうした社会的要請に応えるため、本学部では、理学と工学の学問体系を基盤として、各専門分野にわたる広い知識を修得させ、かつ個々人の得意分野の能力向上をはかり、個性豊かな人材を育てることを目標としています。即ち、地球規模で活躍できる基礎的知識と技能を持ち、多面的な考察により諸課題を見だし、知識を応用して発見した課題を解決する能力を修得することを目指します。さらに、自己と社会のたゆまぬ成長発展を担うための人間力を修得させ、また同時に世界を舞台に専門職や研究職として活躍することを目的として、日本語や外国語による的確な意思疎通能力、さらには情報リテラシーや論理的な思考・判断力などの育成にも力を入れています。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

受験生の諸君が高等学校における学習によって身につけた知識や技能を前提に大学の授業が設計されています。したがって、大学において諸君が期待している理工学に関する最新の知識や技術を学ぶためには、高等学校における幅広い教科の内容を十分に理解しておく必要があります。入学時には選抜方式によらず所定の習得水準でスタートすることが望まれます。そこで、各学科が要求する高等学校段階で習得すべき内容・水準を以下に示します。

数 理 科 学 科

【1. 求める学生像】

言葉は人類の獲得した知的財産の根源であり、数学および数理科学はあらゆる科学技術の言葉（基礎）となっています。数学的なものの考え方は、古くより文化の発展と人類の繁栄を支えてきました。科学技術の進歩は、数学なくしては考えられません。数理科学科では、豊かな創造性に富んだ現代数学の概念や方法の基礎を修得させ、数学の先端研究を目指す者や教育者、培った数学の力を基盤として活躍できる技術者など、社会を多様に支える知的素養のある人材を養成しています。そのため、本学科では、主として、数学が好きで、あるいは自然科学、情報科学、社会科学の数理的側面に旺盛な好奇心をいだいて、次に示すような目的意識と向学心および基礎学力を持っている学生を求めています。

1. 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
2. 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

【2. 入学者選抜の基本方針】

数理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と数学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

数理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力を有しているか、さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎的能力を有しているかを審査します。前期日程においては、数理科学科の科目を履修するのに必要となる数学と理科に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

数学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

3. 3年次編入学試験（一般、推薦）

さらに高度な数学の専門教育・研究を強く希望する他研究機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学の意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、数学については高等学校で履修した範囲において応用的な能力を有していることを求めます。

物 理 科 学 科

【1. 求める学生像】

物理学は、物質、相互作用、時間空間などの全ての自然現象を単純で美しい物理法則によって矛盾なく記述し、その理解を目指す、夢とロマンに満ちた学問です。物理学の研究では、論理的考察と実験的検証を繰り返し、真理を探究します。物理科学科では、専門的な物理学の基礎となる知識やその運用能力を修得するとともに、科学をよく理解し、柔軟な発想や思考で課題に向かう姿勢を身につけてもらうことを目指しており、多岐にわたる物理学の専門科目と幅広い基礎知識や文化的素養を培うための教養教育科目を設けています。物理科学科の卒業生は、物理学の研究者のみならず、企業、官庁、教員など、幅広い分野で活躍し、高い評価を受けています。

専門的な物理学の修得には、高等学校で基礎学力をしっかり身につける必要があります。特に理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味をもつ諸君の入学を期待しています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

物理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と物理分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

物理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に物理分野で活躍するのに必要な知識や技能、課題発見・解決能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、物理学履修上の中核となる数学と物理に重点を置いた個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

物理学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判断します。

3. 3年次編入学試験（一般、推薦）

さらに高度な物理の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学に適応した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または小論文（推薦のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

物理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておく必要があります。特に、物理学分野の中核的科目である物理と数学については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題を解くことができることを求めます。

知能情報システム学科

【1. 求める学生像】

知能情報システム学科では、IT（情報技術）に関する理論、コンピュータを中心とした情報システムの設計・開発・活用に関する技術を系統的に教育し、情報社会の発展に中心となって貢献できる情報技術者、教育者、研究者を育成しています。

本学科の卒業生が、情報通信分野を始めとする広範な業種で、専門知識を活用しながら、先進的能力を発揮する責任ある情報技術者として活躍するため、以下の教育課程を実施しています。幅広い文化、自然、社会の教養を修得させ、文書作成、口頭発表などのコミュニケーション能力を育成します。国際社会に活躍するために語学教育を行います。ITの理論を深く理解するため数学、自然科学などの専門基礎を重視します。各種実験科目や卒業研究を通して、グループの中での協調性を身に付けさせるとともに、自主的な学習能力、情報収集能力、問題発見・解決能力を養成します。

このような背景から、本学科では教育課程を通して育成する人材の前提として、全般的な基礎学力を備えた学生を求めます。基礎学力の中では特に数学、理科の学力を重視します。また、ITに対する興味を持ち、ITの基礎知識がある学生、ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある学生の入学を望みます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

知能情報システム学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力とIT関連分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

知能情報システム学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に情報分野で活躍するのに必要な知識や能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、知能情報システム学履修上の中核となる数学と理科を重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

高等学校の情報系の科および総合学科の学生を対象に、知能情報システム学に関する基礎知識および勉学意欲や熱意を小論文や面接等によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

知能情報システム学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な知能情報システム学の専門教育を希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学に適応した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

知能情報システム学科で受ける科目を理解するための基礎学力として、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの問題を解くことができる能力を求めます。

機 能 物 質 化 学 科

【1. 求める学生像】

化学は、物質を探究し、新しい反応や物性を見出し、新素材や先端材料の創製を通して、社会の発展に貢献しようとする学問分野です。理学と工学の融合した機能物質化学科では、基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得するとともに、ファインセラミックスや機能性高分子材料などの新素材、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料、資源のリサイクルや環境の浄化など“地球に優しい”物質や環境関連技術の開発などの最先端研究に係わることで、自主的な課題発見・解決能力を身につけ、化学を通して社会に貢献できる人材・自立した化学技術者として社会に貢献する人材を育成しています。

したがって、日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかを興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ学生を求めています。化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた学生を待っています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

機能物質化学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と化学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

機能物質化学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、さらに卒業後グローバルに活躍するのに必要となる知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを評価します。前期日程においては、化学専門科目の履修上重要な数学と理科（化学または物理）に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、化学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に評価します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

化学分野でグローバルな活躍を目指す人材教育の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な化学の専門教育を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に評価します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

機能物質化学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学専門科目の履修において理解を助けるために、数学と理科（化学・物理）については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題が解けることを求めます。

機械システム工学科

【1. 求める学生像】

航空機、船舶、鉄道、自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械、工作機械やロボットなどの産業用機械、ロケットや人工衛星などの宇宙機器、さらには家電製品や情報・通信機器に至るまで、機械技術がかかわる分野は大変広範です。これからの機械技術は利便性や効率化の追求だけでなく、人間との協調や安全性、地球環境との調和、資源・エネルギー問題などがさらに重要となります。

機械システム工学科のカリキュラムは、入学者および編入学者の全員を対象とした JABEE（日本技術者教育認定機構）に認定された技術者教育プログラムであり、将来幅広い分野で国際的に活躍できる人材育成を目指して学習・教育目標が定められています。本学科では理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「もの創り」に興味のある人を求めます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

機械システム工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と機械系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

機械システム工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎学力が備わっているか、さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては、機械工学の専門科目を履修するのに必要となる数学と物理の個別試験を課し、後期日程では大学入試センター試験の結果により数学・理科・外国語に重点をおいた幅広い知識の総合力を判断します。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、機械工学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文と面接によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

機械工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。特別入試（帰国子女）では、小論文と面接により機械工学分野への学習意欲や熱意について総合的に判断し、私費外国人留学生入試では、日本留学試験・TOEFL の成績および面接により入学後の学習に必要な日本語能力と基礎学力を審査します。

4. 3年次編入学試験（一般，推薦，外国人留学生）

さらに高度な機械工学分野の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい基礎学力・能力および勉学への意欲を問います。一般入試と外国人留学生特別入試では、数学と専門科目の試験により基礎学力を審査し、推薦入試では、小論文と面接により機械工学分野への勉学意欲や熱意に重点をおいて審査します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し、機械システム工学科への入学後の専門科目の履修において理解を助けるため、数学および物理については概念や定義を十分理解した上で標準的な問題を解くことができることを求めます。

電 気 電 子 工 学 科

【1. 求める学生像】

電気電子工学科では、現代社会の基盤であるエレクトロニクス産業、近年、社会的ニーズが益々高くなっている情報通信関連分野、業種を問わない広範な産業界、さらには各種社会インフラ業界などからの旺盛な人材ニーズに対して、毎年、多くの卒業生を送り出しています。そのために、国際社会や様々なビジネス分野でも通用する幅広い基礎知識と文化的素養そして言語・情報・リテラシー能力を修得することを目的として、多様な教育を行っています。さらに、科学技術創造立国を担う創造的人材の育成を目指して、各種の学生実験や演習さらには卒業研究を通じて自律的な実践力、課題発見・解決能力を養成するとともに、他者との協調性なども養成しています。

したがって、高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけるとともに、エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある皆様の入学を期待しています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

電気電子工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と電気電子系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試（前期日程，後期日程）

電気電子工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、さらにグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては、電気電子工学履修上の中核となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力、電気電子工

学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

電気電子工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な電気電子工学の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

電気電子工学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に電気電子工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることを求めます。

都 市 工 学 科

【1. 求める学生像】

都市には、交通や水、エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤、施設の整備と安全確保が必要とされますが、同時に自然環境や歴史との調和も求められます。デザイン性も強く要求される時代となっています。形態や空間を扱うデザインでは、美的な感性に加えて、人々の思い入れや自然観についても感じることでできる素養が必要です。市民から専門家まで多くの人達とのコミュニケーション能力も大切になります。

都市工学科は「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、人々が安全安心かつ快適に生活することに貢献できる高度な専門的能力を身につけた多様な人材を育成します。教育方針の特徴は、専門科目のほとんどが選択科目であることです。選択責任が求められますので、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ学生の入学を望みます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

都市工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と都市工学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1. 一般入試（前期日程、後期日程）

都市工学科で学ぶ専門科目を理解できる幅広い基礎的な学力と知識を有しているか、そして卒業後あるいは大学院進学後に求められる素養や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得できる能力を有しているかを審査します。

前期日程においては、大学入試センター試験の他、都市工学の「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」のいずれにおいても基礎となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し、後期日程では主として大学入試センター試験の結果から幅広い知識の

総合力と理工学に関連する基礎学力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験のみでは評価・確認が困難な特徴的な資質・能力，具体的には都市環境基盤や建築・都市デザインで代表される都市工学分野への勉学意欲や熱意，さらには適性にも配慮して，高校等での学習・活動履歴，小論文，面接によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女），私費外国人留学生入試

都市工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として，国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ），面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般，推薦，外国人留学生）

高等専門学校，大学等の教育機関から継続的に高度な都市工学の専門教育・研究を強く希望する学生を対象として，3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験，面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数学・理科（物理，化学）・外国語（英語）の教科について，教科書レベルの基礎的な知識を有し，都市工学の基礎専門科目（数学，力学など）を理解できることを求めます。

国語・社会の教科について，基本的な知識を有していること。都市工学分野における問題に関心を持ち，これら問題を多面的に分析し，自分の考えをまとめ，意見交換ができることを求めます。

農 学 部

＜入学者受入れの方針＞

今、私たちが生きる21世紀は、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会への転換が求められています。このような時代背景のなか、日本有数の食料生産基地である佐賀平野に立地する佐賀大学農学部は、農学という学問が、理系から文系にわたり、基礎から応用に及ぶ総合科学であることを踏まえ、「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」、「地域社会」をキーワードとした多様で重要な課題を解決していこうとしています。そのために、創造性豊かな専門職業人を育て、国内はもとより、アジアをはじめとする世界に貢献します。これらのことから、農学部は、個性とバイタリティーにあふれ、基礎学力を有する人を歓迎します。

【1. 求める学生像】

応 用 生 物 科 学 科

1. 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
2. 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
3. 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 物 環 境 科 学 科

1. 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
2. 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
3. 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 命 機 能 科 学 科

1. 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
2. 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

【2. 入学者選抜の基本方針】

農学部が求める学生像にふさわしい学生を選抜するために、一般入試、推薦入試、帰国子女特別入試、私費外国人留学生入試及び3年次編入学試験の多様な入学試験を実施します。

〔一般入試〕

高等学校等での学習の達成度を評価するために、大学入試センター試験及び個別試験を課します。大学入試センター試験では、5教科7科目を課し、数学及び理科の学力を重視します。個別学力検査では、前期日程で数学及び英語、後期日程で数学の学力試験を課し、入学後に必要な基礎学力を測ります。

〔推薦入試〕

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（調査書、推薦書、作文等）を行い、高校における学習状況等を評価します。第一次選考の合格者について第二次選考を行います。第二次選考では、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

〔帰国子女特別入試〕

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（成績証明書等）により、これまでの学習状況等を評価します。第二次選考では、第一次選考合格者に対し、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

〔私費外国人留学生入試〕

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績、TOEFLの成績及び面接により、志望学科の学業に対する熱意と適性を測ります。

〔3年次編入学試験〕

試験科目として、英語、口頭試問及び面接を課し、編入学後に必要な学力と勉学意欲を測ります。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

農学は、農業生産を中心として、医・薬・理・工・経・文など衣食住に関わる多様な分野ならびに自然環境に至るまでの幅広い分野を有する総合科学です。本学部の学生は、一般入試・特別入試（推薦、帰国子女）・編入学という異なる方式で入学していますが、いずれの入学方式においても、各試験科目については高校卒業程度（編入学は短大・高専卒業程度）の理解水準が必要です。

また、佐賀大学農学部の3つの学科では、それぞれの学科の教育内容に応じて次のような知識と学力を持つ学生を求めています。

応 用 生 物 科 学 科

理科（生物Ⅰ・化学Ⅰ）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）についての高等学校レベルの知識を修得しているとともに関連した問題を解く能力を持つ人

生 物 環 境 科 学 科

理系から文系に及ぶ広範な専門領域を学ぶことから、国語・英語・数学の素養に加えて、高等学校レベルの理科及び社会の幅広い知識を修得している人

生 命 機 能 科 学 科

化学的手法が多用されることから、化学はもとより、生物、物理、数学等の理系科目に興味を持ち、英語、国語、社会等の基礎学力を修得している人

Ⅲ 募集要項

1 学部、学科・課程等及び募集人員等

学部、学科・課程等			募集人員等		集 人 員							備 考
			入学 定員	一般入試 特 別 入 試						A O		
				前期 日程	後期 日程	推薦	帰国 子女	社会 人	佐賀県 推薦入学			
文化教育学部	学校教育課程	教育学選修	20	14	6	—	—	—	—	—	○左欄の中から1つの課程を志望してください。 ただし、学校教育課程においては、 1つの選修を志望してください。 ○学校教育課程（教育学選修・教育心理学選修）、国際文化課程及び人間環境課程（人間環境課程の推薦入試及びA O入試は除きます。）は、入学後それぞれの選修に分かれます。	
		教育心理学選修										—
		障害児教育選修	9	6	3	—				—		
		教科教育選修	42	23	8	11				—		
		理科選修	7	5	2	—				—		
		数学選修	7	5	2	—				—		
		音楽選修	5	—	3	—				2		
	小 計		90	53	24	11						2
	国際文化課程	日本・アジア文化選修	60	40	14	6				—		
		欧米文化選修										
	人間環境課程	生活・環境・技術選修	60	35	12	3				—		
		健康福祉・スポーツ選修										7
	美術・工芸課程		30	19	7	4				—		
	小 計		240	147	57	31						5
経済学部	経済システム課程	国際経済社会コース	140	100	40	60	—	—	—	○一般入試は、2課程の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○前期日程＊印の195人には、60人の推薦入試による募集人員を含みます（推薦入試の各課程の合格者数は、本学ホームページ上で公表されます）。 ○各課程は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。		
	総合政策コース											
	経営・法律課程	企業経営コース	135	95	40							
	法務管理コース											
小 計		275	＊195	80	60							
医学部	医学	学科	106	※51	20	33	若干人	—	2	—		
	看護学	学科	60	32	5	23	—	若干人	—			
	小 計		166	83	25	56			2			
理工学部	数理科学科	物理科学科	30	24	6	—	各学科 若干人	—	—	—	○一般入試は、7学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○機能物質化学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。 ○都市工学科は、入学して1年半後にそれぞれのコースに分かれます。	
		知能情報システム学科	60	48	10	2						
	機能物質化学科	物質化学コース	90	62	16	12						
		機能材料化学コース										
	機械システム工学科	90	68	17	5							
	電気電子工学科	90	69	17	4							
	都市工学科	都市環境基盤コース	90	61	15	14						
		建築・都市デザインコース										
	小 計		490	364	89	37						
農学部	応用生物科学科		45	25	10	10	各学科 若干人	—	—	—	○一般入試は、3学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○生物環境科学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。	
	生物環境科学科	生物環境保全学コース	60	30	15	15						
		資源循環生産学コース										
		地域社会開発学コース										
	生命機能科学科		40	30	5	5						
小 計		145	85	30	30							
合 計			1,316	814	281	214			2	5		

（備考）推薦入試、佐賀県推薦入学特別入試及びA O入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の前期日程の合格者で補充します。ただし、文化教育学部学校教育課程音楽選修については、一般入試の後期日程の合格者で補充します。

後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

※ 医学科の一般入試（前期日程）には「長崎県医学修学資金」を貸与される1人が募集人員に含まれます。

2 出 願 資 格

本学へ出願できる者は、志望する学部・学科等が指定する平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験の所定の教科・科目（35～45ページ参照）を受験し、かつ、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 同条第7号により出願を希望し、他大学において入学資格の認定を受け、本学に出願を希望する者については、平成24年1月18日(水)までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書してください。

〈参考〉学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。

[申請先] 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

3 出 願 期 間

平成24年1月23日(月)から平成24年2月1日(水)17時まで

出願書類は、原則として郵送により提出してください。ただし、高等学校において取りまとめ、一括して提出する場合は持参しても構いません（個人による持参は認めません。）。この場合、土曜日及び日曜日を除き、毎日9時から17時までとします。

なお、郵送の場合は、所定の封筒で「速達書留」とし、平成24年2月1日(水)17時必着とします。受験票は、平成24年2月8日(水)頃に郵送します（医学部を除く。）。

4 出願に必要な書類等

(1) 入学検定料17,000円 (様式前1-1, 様式後1-1) (出願用書類在中封筒内に同封)	○本要項に添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。(次頁注意事項参照) ○出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者並びに医学部の2段階選抜における第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還します。なお、出願無資格者通知及び第1段階の選抜不合格通知の際に、併せて「返還請求書」用紙等を送付しますので、必要事項を記入の上、指定する期日までに手続きを行ってください。既納の入学検定料は、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者、医学部の2段階選抜における第1段階選抜不合格者及び次頁注意事項の場合以外は、一切返還しません。
(2) 検定料振込証明台紙 (様式前1-2, 様式後1-2) (出願用書類在中封筒内に同封)	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を本要項添付の台紙に貼り付けてください。
(3) 入 学 志 願 票 (様式前2, 様式後2) (出願用書類在中封筒内に同封)	本学所定の入学志願票に必要事項を自筆で記入してください。
(4) 写真2枚(4cm×3cm) 写真票(様式前3, 様式後3) 受験票(様式前4, 様式後4) (出願用書類在中封筒内に同封)	上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。

(5) 大学入試センター試験成績請求票	大学入試センターから交付されている「 副 平成24センター試験成績請求票国公立前期日程用 」又は「 副 平成24センター試験成績請求票国公立後期日程用 」を 志願票 の所定欄に貼り付けてください。 (再発行を受けた場合は、再発行の方を使用してください。)
(6) 履 歴 書 (医学部志願者のみ) (様式前5, 様式後5) (出願書類在中封筒内に同封)	① 必ず志願者本人が黒のボールペン等を使用し、楷書で記入してください。 ② 履歴事項は、高等学校入学から現在までの学歴、経歴について年月順に、空白期間をつくらずに詳しく記入してください。 ③ 他の大学に在学中の者又は在学したことのある者は、大学・学部・学科名及びその入退学・卒業の年月又は在学中等を記入してください。 ④ 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含みます。)及び国際バカロレア資格等に合格した者又は合格見込みの者は、その資格取得(取得見込)年月日を記入すると同時に、最終学歴から現在に至るまでその経歴を記入してください。 ⑤ 出願資格が高等学校卒業及び卒業見込みによらない者は、記入欄の「高等学校入学」の文字を消して必要事項を記入してください。
(7) 調 査 書	① 高等学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者は、出身学校において文部科学省の定めた様式により作成した調査書 ② 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。 ③ 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含みます。)は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目の一部を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。 ④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国におけるバカロレア資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校に在学したことがある者は、調査書も併せて提出してください。
(8) 住 所 届 (様式前6, 様式後6) (出願書類在中封筒内に同封)	本学所定の 住所届 に必要事項を自筆で記入してください。
(9) 受験票送付用封筒1枚 (出願書類在中封筒内に同封)	受験票 を送付しますので、本学所定の封筒(受験票等在中封筒)の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記の上、 360円切手 を貼り付けてください。 ※医学部については、第1段階選抜結果通知書と受験票(合格者のみ)を送付します。

注 意 事 項

下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合(「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合)
 - ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が、検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- ※ 出願書類を**受理した後は**、振り込み済の**検定料は返還いたしません**。

次の場合は、**検定料の返還請求ができます**ので、必ず手続きしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課(0952-28-8177)までお問い合わせください。

調査書の記入について

- (ア) 医学部志願者の学習成績概評Aに属する者のうち、人物、学力ともに優秀で高等学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に**④**と標示してください。(この場合は、**④**と標示した理由を備考欄に記入してください。)
- (イ) 廃校・被災その他の事情により出身高等学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。また、出願者が被災等により上記書類も整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

5 出 願 方 法

- (1) 出願書類等は、一括して本学所定の「出願用封筒」に入れ、「速達書留」とし、出願期間内に提出してください。

〔提出先〕〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

- (2) 高等学校において取りまとめ、持参する場合も、本学所定の封筒に入れて提出してください。
(3) 出願に際しては、次の事項について十分留意してください。

ア 志願者は、各大学が行う個別学力検査について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができますが、「前期日程」と「前期日程」、「後期日程」と「後期日程」の併願はできません。

なお、本学の「前期日程」の学部と「後期日程」の学部は併願することができます。

イ 他の国公立大学(国際教養大学及び新潟県立大学を除きます。)・学部の推薦入試の合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦入試入学辞退手続により**平成24年2月15日(木)**までに入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。

ウ 他の国公立大学(国際教養大学及び新潟県立大学を除きます。)のAO入試の合格者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める手続きにより**平成24年2月15日(木)**までに入学を辞退した場合を除き、本学の前期・後期日程試験の合格者とはなりません。

エ 前期日程試験に合格し、**平成24年3月15日(木)**までに入学手続を行った者は、本学及び他の国公立大学が行う後期日程の試験を受験しても合格者とはなりません。

オ 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受理しません。

カ 出願書類受理後は、いかなる事情があっても住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更は認めません。また、納入された入学検定料は、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者並びに医学部の2段階選抜における第1段階選抜の不合格者を除き一切返還しません。

6 入 試 方 法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合的に判断し、合格者を決定します。

- (2) 2段階選抜(医学部のみ実施)

○前期日程

入学志願者が、医学科、看護学科とも募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合に実施します。

2段階選抜は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

第1段階選抜の結果は、出願者全員に「速達郵便」で通知し、合格者には本学の受験票を同封します。

なお、同通知が**平成24年2月14日(火)**までに到着しない場合は、医学部学生サービス課入試担当(電話0952-34-3130)に問い合わせてください。

○後期日程

入学志願者が、医学科、看護学科とも募集人員の約7倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合に実施します。

2段階選抜は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、その合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ、個別学力検査等を実施します。

第1段階選抜の結果は、出願者全員に「速達郵便」で通知し、合格者には本学の受験票及び自己推薦書の用紙を同封します。自己推薦書を指定の期日までに提出しなかった者は失格とし、個別学力検査等（面接試験）を受験できません。

なお、同通知が平成24年2月17日(金)までに到着しない場合は、医学部学生サービス課入試担当（電話0952-34-3130）に問い合わせてください。

(3) 学部ごとの採点・評価基準，可否判定基準

学部	区 分	内 容
文 化 教 育 学 部	採点・評価基準	① 学校教育課程教育学・教育心理学・障害児教育選修（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】課された資料を理解しているか，論述内容に個性や独創性がみられるか，論理性はあるか，表現は正確で分かりやすいか，誤字・脱字はないか，字は丁寧か，などの観点から総合的に評価します。 ② 学校教育課程教科教育選修（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】課された資料を理解しているか，論述内容に個性や独創性がみられるか，論理性はあるか，表現は正確で分かりやすいか，誤字・脱字はないか，字は丁寧か，などの観点から総合的に評価します。 ③ 学校教育課程理科選修（後期日程） 【面接（口頭試問を含む。）の採点・評価方法】志望の動機，学習意欲，理科に関する興味・関心などを評価し，将来教師となるための素質を備えているかどうかを総合的に判断します。 ④ 学校教育課程数学選修（後期日程） 【面接（口頭試問を含む。）の採点・評価方法】数学教育を学習するために必要な基礎知識があり，勉学の意欲があるかを総合的に判断します。 ⑤ 学校教育課程音楽選修（後期日程） 【実技試験の採点・評価基準】新曲視唱・聴音等で音楽の基礎能力を，また楽器演奏・声楽を聴くことにより，総合的な音楽性と演奏技術を評価します。 ⑥ 国際文化課程（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】問題の内容を理解しているか，論理的な思考力を身につけているか，適切な表現及び的確な記述がなされているかを評価します。 ⑦ 人間環境課程（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】人間と環境に関して出題し，論理性・独創性・理解力・表現力をみます。 ⑧ 美術・工芸課程（前期日程・後期日程） 【実技検査の採点・評価基準】素描力，造形力をみます。
	同点者の順位決定	前期日程，後期日程とも同点者は，同順位とします。

学部	区 分	内 容
文化教育学部	その他	学校教育課程（教育学選修，教育心理学選修，障害児教育選修，教科教育選修）及び人間環境課程の個別学力検査（前期日程）の選択教科間（国語，数学，外国語）で選択した試験問題の難易度による不公平を是正するため得点調整を行います。 得点調整の計算方法は，次のとおりとします。 ① それぞれの教科毎に平均値（素点で100点満点）を算出します。 ② 3教科の平均値の加重平均値を算出します。 ③ 加重平均値から教科毎の平均値を引いた値（調整値）を受験者の得点に加算します。 ④ 得点調整後の受験者の得点が100点を超える場合は100点とし，負となる場合は0点とします。
経済学部	採点・評価基準	個別学力検査（後期日程）の小論文では，提示された資料を理解しているか，意見や考えを適切な表現を用いて論理的に書くことができているか，という観点から評価を行います。
経済学部	同点者の順位決定	前期日程においては，個別学力検査「外国語」の成績によります。個別学力検査「外国語」同点の者については，大学入試センター試験「外国語」の成績によります。さらに，大学入試センター試験「外国語」同点の者については，大学入試センター試験「国語」の成績によります。後期日程においては，個別学力検査「小論文」の成績によります。個別学力検査「小論文」同点の者については，大学入試センター試験「外国語」の成績によります。さらに，大学入試センター試験「外国語」同点の者については，大学入試センター試験「国語」の成績によります。
医学部	採点・評価基準	○前期日程 ・総合問題（医学科） 総合問題は，在学中に学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか否かを判定します。また，卒業後医療に従事する際に必要な問題解決，論理的思考，表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか否かを総合的に判定します。 ・小論文（看護学科） 小論文は，提示された課題について，論理的な思考力や適切な表現力によりの確に記述されているかを評価します。 ・面接 医学部志望の動機，学習意欲・積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師，看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い者は不合格とすることがあります。 ・調査書 単に学業成績優秀というのみでなく，心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち，学習意欲・積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書によって評価します。 また，面接にあたっても参考にします。

学部	区 分	内 容
医 学 部	採点・評価 基準	○後期日程 ・面接 2日間にわたり面接試験を実施します。第1日目は調査書等を基に、第2日目は自己推薦書を基に実施します。 医学部志望の動機，学習意欲・積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師，看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い者は不合格とすることがあります。 ・調査書及び自己推薦書 単に学業成績優秀というのみでなく，心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち，学習意欲・積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び自己推薦書によって評価します。 また，面接にあたっても参考にします。
理 工 学 部	同点者の 順位決定	前期日程においては，志望順位によります。志望順位が同じ場合は，個別学力検査の得点によります。さらに，得点と同じ場合は，同順位とします。 後期日程においては，志望順位によります。志望順位が同じ場合は，大学入試センター試験「数学」及び「外国語」の合計得点によります。さらに，得点と同じ場合は，同順位とします。
農 学 部	同点者の 順位決定	前期日程，後期日程とも，第1志望，第2志望にかかわらず，同順位とします。
	その他	大学入試センター試験及び個別学力検査の受験した科目で1科目でも基準点以下がある場合は，不合格とします。 なお，基準点以下とは，次のとおりとします。 ① 各科目の最低得点者より受験者数の5％に相当する者がとった得点以下のもの ② ただし，①の得点者が，その科目の満点の10％以上の場合は，10％未満のもの

- (4) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等及び本学において行う個別学力検査等、その他の能力、適性等に関する検査は、P36～P45のとおりとします。

なお、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は、失格とします。

※ 大学入試センター試験の外国語において英語を選択した者で、リスニングを未受験の者についても、失格とします。

ただし、大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。

- (5) 大学入試センター試験の成績は、平成24年度大学入試センター試験の成績を用います。

平成24年度大学入試センター試験の利用教科・科目等について

1 平成24年度大学入試センター試験時間割等の変更に伴う措置について

- (1) 平成24年度大学入試センター試験から地理歴史・公民及び理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取扱います。
- ① 地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合の取扱いについては、地理歴史・公民の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。
- ② 理科の科目において、2科目受験した場合の取扱いについては、理科の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。
- ③ 地理歴史・公民及び理科を含め複数科目のうちから選択指定している場合の取扱いについては、地理歴史・公民及び理科の「第1解答科目」を採用後、その他の受験した科目のうちから指定した科目数の範囲内で高得点順に採用します。

2 得点の採用例

- (1) 地理歴史・公民及び理科において1科目を指定している場合

教科	科目名等
国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から2 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]
取 扱	①地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。 ②理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

- (2) 複数教科のうちから選択指定している場合

教科	科目名等
国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1又は2 } から5 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
取 扱	①地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。 ②理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。 ③地理歴史・公民及び理科を含め複数科目のうちから選択指定している場合の取扱いについては、地理歴史・公民及び理科の「第1解答科目」を採用後、その他の受験した科目のうちから指定した科目数の範囲内で高得点順に採用します。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学 部 ・ 学 科 等 名 及 び 入 学 定 員 等 〔平成23年度〕 〔志 願 倍 率〕	学力検査等の 区分・ 日 程	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 の 教 科 ・ 科 目 名		個 別 学 力 検 査 等		
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選 抜
文化教育学部 〔4.6〕 240人 前期 147 後期 57 その他36	学校教育課程 教育学選修 教育心理学選修	前期 2月 25日	国数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から2世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1又は2(注1) から3(注3) 現社、倫政経、倫政経 } 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1又は2(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国数外	国表Ⅰ・国総数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング	1教科選択
		後期 3月 12日	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫政経、倫政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
	学校教育課程 障害児教育選修	前期 2月 25日	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から2世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1又は2(注1) から3(注3) 現社、倫政経、倫政経 } 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1又は2(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国数外	国表Ⅰ・国総数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング	1教科選択
		後期 3月 12日	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫政経、倫政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
	学校教育課程 教科教育選修	前期 2月 25日	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫政経、倫政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目〕	国数外	国表Ⅰ・国総数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング	1教科選択
		後期 3月 12日	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫政経、倫政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
学校教育課程 理科選修	前期 2月 25日	国地歴・公民数理外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫政経、倫政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工簿・会、情報から2 物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	国数外	国表Ⅰ・国総数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング	1教科選択
	後期 3月 12日	国外		その他	面接(注6)	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】 欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2) 理科の科目において 2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」の中で高得点の科目を採用します。

(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注5) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注6) 面接は、口頭試問を含みます。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	面接	調査 書等	配点 合計	
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200						900	外国人 追加合格
個別学力検査	*200			*200		*200						200	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	*400						1100	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200						1000	
個別学力検査								200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200		200				1200	
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200						900	外国人 追加合格
個別学力検査	*200			*200		*200						200	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	*400						1100	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200						1000	
個別学力検査								200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200		200				1200	
センター試験	200	100	100	200	200	200						1000	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査	*300			*300		*300						300	
計	*500	100	100	*500	200	*500						1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200						1000	
個別学力検査								200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200		200				1200	
センター試験	100	*100	*100	200	300	125						825	外国人 追加合格
個別学力検査	*100			*100		*100						100	
計	*200	*100	*100	*300	300	*225						925	
センター試験	100	*100	*100	200	400	125						925	
個別学力検査										100		100	
計	100	*100	*100	200	400	125				100		1025	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

センター試験配点欄で、学校教育課程教育学選修・教育心理学選修、障害児教育選修の*(注1)は、「地理・歴史、公民、理科」から2教科3科目又は3教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
					教科等	科目名等	2段階選抜
文化教育 学部	学校教育課程 数学選修	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注1)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注6)	
	7人 前期 5 後期 2	後期 3月 12日	理 外	理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接(注7)	
	学校教育課程 音楽選修	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ,数Ⅱ・数A,数Ⅲ,数Ⅳ・数B,工,簿・会,情報から1(注5) 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1(注2) 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科5科目〕	その他	実技検査	
	国際文化課程	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B,日B,地理B, 現社,倫・政経 } から2(下記※1参照) 数Ⅰ,数Ⅱ・数A,数Ⅲ,数Ⅳ・数B, 工,簿・会,情報 } から1又は2 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ, 地学Ⅰ } から1又は2(注3) 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 外	国表Ⅰ・国総 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング	
人間環境課程	60人 前期 40 後期 14 その他 6	後期 3月 12日	理 外	理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ, 地学Ⅰ } から1又は2(注2)	その他	小論文	
	人間環境課程	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2 数Ⅰ,数Ⅱ・数A,数Ⅲ,数Ⅳ・数B, 工,簿・会,情報 } から1又は2 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ, 地学Ⅰ } から1又は2(注2)	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注6) 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング } 1教科選抜	
	60人 前期 35 後期 12 その他 13	後期 3月 12日	理 外	理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ, 地学Ⅰ } から1又は2(注2)	その他	小論文	
				英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

※1 「地理歴史・公民」の選択は、(地理歴史から2科目)又は(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

※2 「地理歴史・公民」の2科目選択の場合は、(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2) 理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3) 理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」及び数学の受験した科目の中で高得点の2科目の得点を採用します。

(注4) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の3科目の得点を採用します。

(注5) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注6) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注7) 面接は、口頭試問を含みます。

大学入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等													特別の入 試方法等
試 験 の 区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	総 合 問 題	小論文	実 技	面 接	調 査 書 等	配 点 合 計	
センター試験	200	*100	*100	300	200	200						1000	外 国 人 追加合格
個別学力検査				400								400	
計	200	*100	*100	700	200	200						1400	
センター試験	200	*100	*100	400	200	200						1100	
個別学力検査										200		200	
計	200	*100	*100	400	200	200				200		1300	
センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	A O 外 国 人 追加合格
個別学力検査									500			500	
計	200	*100	*100	100	100	200			500			1200	
センター試験	300	*300(注 1)		*300(注 2)		300						1200	推 薦 外 国 人 追加合格
個別学力検査	400					400						800	
計	700	*300(注 1)		*300(注 2)		700						2000	
センター試験	300	*300(注 1)		*300(注 2)		300						1200	
個別学力検査								300				300	
計	300	*300(注 1)		*300(注 2)		300		300				1500	
センター試験	200	*1000(注 3)				200						1400	推 薦 A O 外 国 人 追加合格
個別学力検査	*200			*200		*200						200	
計	*400	*1200				*400						1600	
センター試験	200	*1000(注 3)				200						1400	
個別学力検査								200				200	
計	200	*1000(注 3)				200		200				1600	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(注1) 1教科2科目又は2教科2科目選択し、配点は各科目150点の合計300点とします。

(注2) 2教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

(注3) 3教科5科目又は4教科5科目選択し、配点は各科目200点の合計1000点とします。

平成24年度 佐賀大学入学選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び学定員等 〔平成23年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
文化教育 学部	美術・工芸 課程 30人 前期 19 後期 7 その他 4	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報 } から1 (注1) 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ 英,独,仏,中,韓から1 〔3教科3科目〕	その他	実技検査	
		後期 3月 12日			その他	実技検査	
経済学部 〔3.5〕 275人 前期 135 後期 80 その他60	経済システム 課程 経営・法律 課程	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 英,独,仏,中,韓から1 〔4教科5科目〕	外	英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング	
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ } 英,独,仏,中,韓から1 〔4教科5科目〕	その他	小論文	
医 学 部 〔5.3〕 166人 前期 83 後期 25 その他58	医 学 科 106人 前期 51 後期 20 その他 35	前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ【必須】 化Ⅰ【必須】 英【必須】 〔5教科7科目〕	その他	総合問題 「英語系」と「理数系(生物を含む。)」 の資料を用いる。 面接	約5倍
		後期 3月 12日・ 13日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰから2 英【必須】 〔5教科7科目〕	その他	面接	約7倍
	看 護 学 科 60人 前期 32 後期 5 その他 23	前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経 数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1(注4) 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰから2 英【必須】 〔5教科6科目〕	その他	小論文 面接	約5倍
		後期 3月 12日・ 13日			その他	面接	約7倍

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

医学部において、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注1) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の1科目の得点を採用します。

(注2) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」の中で高得点の1科目の得点を採用します。

(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	面接	調査 書等	配点 合計	
センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200						600	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査									500			500	
計	200	*200	*200	*200	*200	200			500			1100	
センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200						600	
個別学力検査									600			600	
計	200	*200	*200	*200	*200	200			600			1200	
センター試験	200	*100	*100	200		200						700	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査						100						100	
計	200	*100	*100	200		300						800	
センター試験	200	*100	*100	200	*100	200						700	
個別学力検査								100				100	
計	200	*100	*100	200	*100	200		100				800	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140						630	推薦 帰国子女 佐賀県推薦 外国人 追加合格
個別学力検査							240			☆60	100	400	
計	140	*70	*70	140	140	140	240			60	100	1030	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140						630	
個別学力検査										☆180	100	280	
計	140	*70	*70	140	140	140				180	100	910	
センター試験	140	*70	*70	100	200	140						650	推薦 社会人 追加合格
個別学力検査								100		☆60	100	260	
計	140	*70	*70	100	200	140		100		60	100	910	
センター試験	140	*70	*70	100	140	140						590	
個別学力検査										☆180	100	280	
計	140	*70	*70	100	140	140				180	100	870	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に☆印を付してある面接は、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。

平成24年度 佐賀大学入学選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び学定員等 〔平成23年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
					教科等	科目名等	2段階選抜
理工学部 〔3.4〕 490人 前期 364 後期 89 その他 37	数理学科	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ,化Ⅰ・化Ⅱから1(注3)(注4)(注5)	
		後期	理 外		個別学力検査は課しません。		
	物理科学科	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ(注4)	
		後期	理 外		個別学力検査は課しません。		
	知能情報 システム学科	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ,化Ⅰ・化Ⅱから1(注3)(注4)(注5)	
		後期	理 外		個別学力検査は課しません。		
	機能物質化学科	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ,化Ⅰ・化Ⅱから1(注3)(注4)(注5)	
		後期	理 外		個別学力検査は課しません。		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択できる者は,高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国語において英語を受験した者については,リスニングも含まれます。なお,リスニング未受験の者については,失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上,リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において,2科目受験した場合は,受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

【個別学力検査等】欄

(注2) 数Bは,「数列」,「ベクトル」から,数Cは,「行列とその応用」,「式と曲線」から出題します。

(注3) 理科において2科目受験した者については,高得点の科目の成績を用います。

(注4) 物Ⅱは,「力と運動」,「電気と磁気」,「物質と原子(原子,分子の運動のみ)」から出題します。

(注5) 化Ⅱの「生活と物質」,「生命と物質」について出題する場合は,併置出願とし,一方を選択解答とします。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の入 試方法等
試験の区分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	総 合 問 題	小論文	実 技	面 接	調 査 書 等	配 点 合 計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成24年度 佐賀大学入学選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
理工学部	機械システム 工学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ(注3)	
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ【必須】 化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	個別学力検査は課しません。		
	電気電子工学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ(注3)	
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ【必須】 化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	個別学力検査は課しません。		
	都市工学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注2) 物Ⅰ・物Ⅱ(注3)	
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注1) 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物Ⅰ【必須】 化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	個別学力検査は課しません。		
農学部 〔4.4〕 145人 前期 85 後期 30 その他30	応用生物科学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注1) 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング	
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2)	
	生物環境科学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング	
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2)	
	生命機能科学科	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング	
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英,独,仏,中,韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注2)	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。（大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。）

〔注1〕地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

【個別学力検査等】欄

〔注2〕数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。

〔注3〕物Ⅱは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子（原子、分子の運動のみ）」から出題します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	面接	調査 書等	配点 合計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				360	240							600	
計	200	*100	*100	560	440	200						1500	
センター試験	100	*100	*100	300	250	250						1000	追加合格
個別学力検査													
計	100	*100	*100	300	250	250						1000	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100						600	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				200	200	200						400	
計	150	*50	*50	300	200	300						1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100						550	追加合格
個別学力検査				200	200	200						200	
計	100	*50	*50	300	200	100						750	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100						600	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				200	200	200						400	
計	150	*50	*50	300	200	300						1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100						550	追加合格
個別学力検査				200	200	200						200	
計	100	*50	*50	300	200	100						750	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100						600	推 薦 帰国子女 外 国 人
個別学力検査				200	200	200						400	
計	150	*50	*50	300	200	300						1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100						550	追加合格
個別学力検査				200	200	200						200	
計	100	*50	*50	300	200	100						750	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

【大学入試センター試験の「外国語」において、「英語」を選択した志願者に対する「リスニング」の取扱いについて】

○文化教育学部

学校教育課程教育学選修・教育心理学選修，障害児教育選修，教科教育選修，数学選修，人間環境課程及び美術・工芸課程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

学校教育課程理科選修については，筆記試験100点とリスニング25点の合計125点とします。

学校教育課程音楽選修については，筆記試験150点とリスニング50点の合計200点とします。

国際文化課程については，筆記試験240点とリスニング60点の合計300点とします。

○経済学部

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

○医学部

筆記試験112点とリスニング28点の合計140点とします。

○理工学部

前期日程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

後期日程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点をそのまま利用します。

○農学部

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を100点満点に圧縮して，利用します。

※リスニングを免除された者については，各学部とも，筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

7 医学部医学科一般入試「長崎県奨学金」について

医学部医学科では、「経済財政改革の基本方針2009」（地域の医師確保）に基づき、平成22年度に入学定員が増員されました。このうち、卒業後長崎県内で医療活動に従事し地域医療を担う人材を育成するための「長崎県医学修学資金」が貸与される1人が一般入試（前期日程）の募集人員に含まれます。

医学科一般入試（前期日程）の個別学力検査受験者全員に、奨学金貸与希望の確認を行います。詳細は、出願者全員（2段階選抜を実施する場合は、第1次選考合格者）に受験票送付時に文書にて連絡いたします。

1. 「長崎県医学修学資金」貸与を希望した入学者は、長崎県に貸与申請を行うことを原則とします。
2. 上記修学資金の貸与は、卒業後、長崎県が指定する基幹型臨床研修病院において2年間の臨床研修を行い、その後一定期間、県が指定する県内の医療機関において医療活動に従事することを返還免除の条件としているものです。

「長崎県医学修学資金」については、長崎県のホームページをご確認ください。

長崎県ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/izin/yousei/annnai.pdf>

8 試験日程・試験科目及び時間

[前期日程]

学部 (課程, 選修等)名		平成24年 2月25日(土)				平成24年 2月26日(日)	
		開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻
		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)	
文化教育学部	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修 理科選修	9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:10 数学又は国語 (100分)			
	人間環境課程	国語, 数学, 英語の中から志願票に記入した 1科目を受験します。					
	学校教育課程 数学選修			12:30~14:10 数学(100分)			
	国際文化課程	9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:10 国語(100分)			
	美術・工芸課程 (注3)	9:30~12:30 実技検査		13:30~16:30 実技検査			
経済学部		9:30~11:10 英語(100分)					
医学部	医学科 (注1)	9:30~11:00 総合問題Ⅰ (90分)		12:30~15:30 総合問題Ⅱ (180分)			9:10~ 面接
	看護学科 (注1)	9:30~11:00 小論文(90分)					9:10~ 面接
理工学部		9:30~11:00 物理(90分) (注2)		12:30~14:30 数学(120分)		15:30~17:00 化学(90分) (注2)	
農学部		9:30~10:50 英語(80分)		12:30~14:30 数学(120分)			

(注1) 第1日目の試験を受験しなかった者は失格とし, 第2日目の試験は受けられません。

(注2) 理工学部の志望学科別の理科の受験科目については, 下表のとおりとします。

(注3) 文化教育学部美術・工芸課程の実技検査は昼食休憩1時間を挟み, 前・後半で1課題を解答します。(計6時間)

第1志望学科	第2志望学科	受験科目	利用する科目の成績
数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科	数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科	「物理」, 「化学」 の2科目が受験 できます。	第1, 第2志望とも2科目受験した場合は 高得点の科目の成績を用います。
数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科	物理科学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科	「物理」, 「化学」 の2科目が受験 できます。	第1志望は, 2科目受験した場合は高得 点の科目の成績を用います。 第2志望は「物理」を用います。「物理」 を受験していない場合, 第2志望は失格 となります。
物理科学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科	物理科学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科	「物理」を受験す ること。「化学」 は受験できませ ん。	第1, 第2志望とも「物理」を用います。 「物理」を受験していない場合, 第1, 第2志望とも失格となります。
物理科学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科	数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科	「物理」, 「化学」 の2科目が受験 できます。	第1志望は「物理」を用います。「物理」 を受験していない場合, 第1志望は失格 となります。 第2志望は, 2科目受験した場合は高得 点の科目の成績を用います。

[後期日程]

学部 (課程, 選修等)名			平成24年 3月12日(月)			平成24年 3月13日(火)		
			開始時刻	終了時刻		開始時刻	終了時刻	
			科目名 (試験時間)			科目名 (試験時間)		
文 化 教 育 学 部	学校教育課程	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修	9：30～11：10 小論文（100分）					
		国際文化課程						
		人間環境課程						
	学校教育課程	理科選修	9：30～17：00 面接 (注1)					
		数学選修						
		音楽選修	9：30～12：30 実技検査		13：30～15：30 実技検査			
	美術・工芸課程 (注4)	9：30～12：30 実技検査		13：30～16：30 実技検査				
経済学部		9：30～11：10 小論文（100分）						
医学部 (注2～3)		9：10～ 面接				9：10～ 面接		
理工学部		個別学力検査は実施しません。						
農学部		9：30～11：30 数学（120分）						

(注1) 学校教育課程理科選修の面接(口頭試問を含みます。)及び数学選修の面接(口頭試問を含みます。)は、志願者数によって終了時刻が変更になることがあります。昼食を持参し、食事は適宜とってください。

(注2) 自己推薦書を所定の期日までに提出しなかった者は失格とし、試験は受験できません。

(注3) 第1日目の試験を受験しなかった者は失格とし、第2日目の試験は受けられません。

(注4) 文化教育学部美術・工芸課程の実技検査は昼食休憩1時間を挟み、前・後半で1課題を解答します。(計6時間)

実技検査の内容

1 文化教育学部学校教育課程音楽選修（後期日程のみ）

すべての受験者に次の(1)～(4)すべてを課す。

(1) 新 曲

難易度の異なる旋律を2曲視唱する。

(2) 聴 音

難易度の異なる旋律を2曲聴取して記譜する。

(3) 声 楽（必ず試験当日までに①、②2曲とも学び、暗譜しておくこと）

次の2曲の中から当日指定された1曲を暗譜で歌う。（歌詞は原語）

① ふるさとの F dur（ヘ長調） 石川啄木 作詞 平井康三郎 作曲

② 'Caro mio ben' Es dur（変ホ長調） Giuseppe Giordani 作曲

(4) 器 楽

次の①、②の中からいずれかを選んでください。

① ピアノで受験する者

任意のソナタ第1楽章又は終楽章（繰り返しなし）を暗譜で演奏する。

② 管、弦、打楽器で受験する者

ア 管、弦、打楽器で任意の1曲を暗譜で演奏する。

イ ソナチネ程度以上の任意のピアノ曲を1曲演奏する。

2 文化教育学部美術・工芸課程（前期日程・後期日程とも）

出願時に(1)か(2)のいずれかを選択する。（選択必修科目）

(1) 木炭による石膏デッサン

※持参用具 木炭デッサンに必要な素描用具一式

ただし、木炭紙、下敷き、カルトン、イーゼルは大学で用意します。

(2) 鉛筆による静物デッサン

※持参用具 鉛筆デッサンに必要な素描用具一式

ただし、木炭紙大画用紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。

（注）(1)、(2)ともに6時間で1課題を解答します。なお、受験上の留意事項については、

「16 受験者心得」の(15)に記載しています。（P55）

9 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者（障がいの有するなど）は、出願に当たって、次により相談してください。

(1) 相談の時期

平成24年1月20日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がいの有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

(2) 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

[相談及び連絡先]

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(電話) 0952-28-8178

10 試験場及び集合時刻等

前期日程 [平成24年 2月25日(土), 26日(日)]

学 部			試 験 場	集合時刻・場所	備 考
文化教育学部	学校教育課程	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修 理科選修 数学選修	佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	試験開始時刻の30分前までに各試験室に入室してください。	
		国際文化課程			
		人間環境課程			
	美術・工芸課程	9時までに文化教育学部4号館美術棟入口に集合してください。		8時30分から集合場所において受付を開始します。	
経済学部			佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	9時までに各試験室に入室してください。	
医学部			佐賀大学(鍋島キャンパス) 佐賀市鍋島5丁目1番1号	平成24年2月25日(土) 9時までに各試験室に入室してください。	平成24年2月26日(日) 通知文(受験票送付時に同封)で指定された受付時間内に受付を済ませてください。
理工学部			佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	試験開始時刻の30分前までに各試験室に入室してください。	
農学部			佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	9時までに各試験室に入室してください。	

(注) 試験場建物内には、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票**を提示し入場してください。
 志願者は、平成24年2月24日(金)の13時以降、試験場の下見ができます。鍋島キャンパスは、自動車でお越しの方は病院駐車場に駐車し、駐車場管理室へ下見に来た旨を申し出てください。(本庄・鍋島キャンパスとも試験場の下見は、建物内に入ることはできません。)

後期日程 [平成24年 3月12日(月), 13日(火)]

学 部			試 験 場	集合時刻・場所	備 考
文化 教育 学部	学校教育課程	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修	佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	9時までに各試験室に入室してください。	8時30分からそれぞれの集合場所において受付を開始します。
		国際文化課程			
	人間環境課程				
	学校教育課程	理科選修			
		数学選修			
		音楽選修			
美術・工芸課程					
経済学部			佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	9時までに各試験室に入室してください。	
医学部			佐賀大学(鍋島キャンパス) 佐賀市鍋島5丁目1番1号	通知文(受験票送付時に同封)で指定された受付時間内に受付を済ませてください。	
理工学部				個別学力検査は課しませんので来学する必要はありません。	
農学部			佐賀大学(本庄キャンパス) 佐賀市本庄町1番地	9時までに各試験室に入室してください。	

(注) 試験場建物内には、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票**を提示し入場してください。
 志願者は、平成24年3月9日(金)の13時以降、試験場の下見ができます。鍋島キャンパスは、自動車でお越しの方は病院駐車場に駐車し、駐車場管理室へ下見に来た旨を申し出てください。(本庄・鍋島キャンパスとも試験場の下見は、建物内に入ることはできません。)

11 合格者の発表

(1) 発表期日

- 前期日程 平成24年3月6日(火) 14時
- 後期日程 平成24年3月21日(水) 14時

(2) 発表場所及び通知等

本学（本庄キャンパス）「大学会館」前に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

また、情報サービスの一環として合格者発表日の14時30分頃からホームページでも確認できます。（64ページ参照）

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じません。

12 入学手続

(1) 入学手続期間

- 前期日程 平成24年3月12日(月)から3月15日(木)17時までに必着するように発送してください。
- 後期日程 平成24年3月24日(土)から3月27日(火)17時までに必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

(2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。）、写真（2枚）

② 納入金

入学料：282,000円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）[年額535,800円]

※この金額は、平成23年4月現在のものです。

（留意事項）

- ① 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。
なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。
- ② 授業料（前期分）は、入学手続時に納入する必要はありません。納入期間は、平成24年4月3日(火)から5月31日(木)です。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）
- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学手続完了者で、特別な事情により平成24年3月30日(金)までに授業料を納入し、なおかつ平成24年3月31日(土)までに入学を辞退し、受理された場合には、納入した者の申し出により、納入済の授業料相当額を返還します。
- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

(3) **注意事項**

ア 一つの国公立大学（国際教養大学及び新潟県立大学を除きます。）に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学に入学手続をとることはできません。

イ 入学手続の全般にわたる詳細な手続方法は、入学手続関係書類の中に記載します。

13 欠員の補充方法

入学手続締切日の時点で、入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、次の方法により欠員を補充します。

(1) 平成24年3月28日(水)から平成24年3月31日(土)までの間に追加合格者を決定し、欠員を補充します。

(2) 追加合格の通知は、電話及びFAXの双方により行います。

電話により追加合格の連絡を受けた者は、速やかに入学意志の有無を決定の上、速やかに本学へ電話で連絡し、その後、直ちに入学意志の有無をFAXにより連絡してください。

(3) 入学手続は、原則として平成24年3月31日(土)（若しくは追加合格の通知で本学が定めた期日）までに本学に来学の上、行ってください。その方法等は、前記「12 入学手続」に準じて行います。

ただし、入学手続関係書類は、本学へ来学の際、直接本人に交付します。詳細な手続方法は、追加合格の通知の際に指示します。

(4) 前記(3)の期限内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

14 入学許可の取消し

(1) 平成24年3月に高等学校卒業見込みで受験した者で、平成24年3月までに当該高等学校を卒業できない者は入学許可を取消します。

(2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取消することがあります。

15 注 意 事 項

(1) 試験に関する詳細な諸注意は、「16 受験者心得」のほか、試験場にも掲示します。

(2) 入学試験に関する照会は、下記に問い合わせてください。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課
(電話) 0952-28-8178

(3) 入学試験時における受験者の宿泊斡旋は行いません。

宿泊を必要とする場合は、次のところに照会すると便利です。

なお、この他、宿泊斡旋を行うところもあります。

●JTBCコンベンションサポートセンター

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル6F 電話 092-751-2102
(最寄りの各支店でも可)

※詳細は同封の「佐賀大学生協からの受験宿泊・交通のご案内」を参照ください。

●日本旅行佐賀支店

〒840-0816 佐賀市駅南本町3-7 電話 0952-24-2218

※JTBC・日本旅行ともに営業は月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）

16 受験者心得

- (1) 試験場建物内には、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を提示し入場してください。**

試験開始30分前までに試験室に入室してください。

なお、文化教育学部志願者のうち、前期日程及び後期日程の実技検査の受験者は、それぞれの所定の時刻・場所に集合してください。(52ページ参照)

- (2) 本学の受験番号と机上の番号が一致するよう着席してください。**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を机上の右上に置いてください。**なお、机上には、受験票、筆記用具[鉛筆(シャープペンシルを含みます。)、消しゴム、鉛筆削り(電動式を除きます。)、^{※1}コンパス、^{※1}小型三角定規、^{※1}直線定規]、眼鏡及び時計(計時機能だけのもの。)、以外の物は置かないでください。 ※1) 医学部においては使用を認めていません。

その他の荷物は監督者の指示に従い、机の下の足元又は横に置いてください。

特に、**携帯電話等の電子機器類**は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、**身に付けていたり手に持っている**と不正行為となることがあります。

- (3) 試験室においては、監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験開始後30分以上遅刻した者は、入室できません。また、試験途中での退室は認めません。なお、交通機関の事故により、試験開始後30分以上遅刻した者は、試験場事務室に申し出てください。
- (5) 試験時間中、気分が悪くなった者は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
- (6) 解答紙、下書き用紙は、持ち帰らないでください。ただし、問題用紙は持ち帰ってください。なお、医学部においては、下書き用紙も持ち帰ってください。
- (7) 面接では、受付入室から退室解散までの所要時間が多少長くなることもありますので、その心づもりでいてください。
- (8) 本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに試験場事務室に申し出て指示を受けてください。
- (9) 弁当及び湯茶は、各自持参してください。
- (10) 過去に麻疹(はしか)の予防接種を受けていない者や、麻疹にかかったことがない者は受験前に予防接種を受けることをお勧めします。
- (11) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分余裕をもって、行動してください。
- (12) 本学の試験会場周辺の道路は、午前7時30分頃から同9時頃まで渋滞します。試験当日はさらなる渋滞が予想されますので、当日は余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。

また、試験の前日には試験会場の下見をするなどして、受験する試験室を前もって承知しておいてください。

- (13) **大学入試センター試験の受験票は、合格者発表後の入学手続の際に必要なので保管しておいてください。**
- (14) その他不明の点があれば、学務部入試課(試験当日は、各学部試験場事務室)に問い合わせてください。
- (15) 文化教育学部美術・工芸課程の実技検査は、試験が全て終了するまで退室を認めていません。**昼食休憩時間の弁当購入や外食はできませんので、各自昼食を用意して集合してください。**なお、実技試験室と昼食休憩室は異なります。

また、携帯電話等の電子機器類についても、休憩時間内を含めてその使用を禁止しますので試験終了までお預かりします。

17 入学志願票等の記入上の注意及び記入例（前期日程用）

- (1) 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が黒のボールペン等を使用し、楷書で記入してください。
- (2) 志望学部、学科・課程、選択科目欄は、該当するコードを○で囲んでください。
- (3) ※印欄は、記入しないでください。

平成24年度佐賀大学入学志願票（前期日程用）

- ・募集要項56,57ページの「記入上の注意及び記入例（前期日程用）」をよく読んで記入してください。
- ・裏面に平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄がありますので、各自確認してください。
- ・太線内は全部記入してください。

受付番号		受験番号	
※		※	

志望学部				
文化教育学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部
①	2	5	3	4

(記入上の注意)
黒のボールペン等を使用して記入してください。
志望学部、学科・課程、選択科目欄は該当するコードを○で囲んでください。

平成24センター試験成績請求票
国公立前期日程用
貼付欄

はがれないように裏の全面にのり付けしてください。

フリガナ	サ	カ	ハ	ナ	コ															
氏名	佐賀花子																			
性別	男・④																			
生年月日	昭和⑤ 5 年 9 月 1 日																			
出願資格	高校所在 都道府県 佐賀県 国立 ⑥ 公立 認定 (検定) 佐賀 高等学校 その他 昭和 24 年 3 月 日 卒業見込み 卒業 認定合格 (検定) 平成																			

文化教育学部志願者の志望課程・選択科目1 選択科目2

第1志望									学校・人間			美術・芸術			
学校教育学部	障害児教育学部	教育心理学部	教育課程	国際文化課程	人間環境課程	美術・芸術課程	国語	英語	国語	英語	国語	英語	美術・芸術	芸術	
①	02	03	04	05	07	08	09				①	2	3	A	B

経済学部志願者の志望課程

第1志望		第2志望	
経済システム課程	経営課程	経済システム課程	経営課程
01	02	01	02

医学部志願者の志望学科

医学部	看護学部
01	02

大学経験

在学中	卒業	中退
01	02	03

理工学部志願者の志望学科

第1志望							第2志望							理科	
数理学部	物理科学部	知能情報科学部	機械工学部	機械工学部	電気工学部	都市工学部	数理学部	物理科学部	知能情報科学部	機械工学部	機械工学部	電気工学部	都市工学部	物理科学部	理科
01	02	03	04	05	06	07	01	02	03	04	05	06	07	01	02

農学部志願者の志望学科

第1志望			第2志望		
応用生物科学部	生物環境科学部	生命機能科学部	応用生物科学部	生物環境科学部	生命機能科学部
01	02	03	01	02	03

調査書

学習成績概評	評定平均値
※	※

日程の種別

前期日程
1

かさぎ奨学金希望欄

希望する	希望しない
1	2

現住所及び連絡先(電話)

郵便番号 849-0923 連絡先 電話 (0952) 28-8178
住所 佐賀県佐賀市日の出1丁目 2-3-45
保護者等の氏名及び連絡先 フリガナ サ カ タ ロウ 氏 名 佐賀太郎 電話 市外局番 (0952) 28-8178

- 56 -

入学志願票等の記入上の注意について（前期日程用）

- (1) **大学入試センター試験成績請求票**
 - 平成24センター試験成績請求票国公立前期日程用貼付欄には、大学入試センター発行の「**平成24センター試験成績請求票国公立前期日程用**」をはがれないように裏の全面にのり付けし、貼り付けてください。
- (2) **氏名・性別及び生年月日**
 - 氏名は、楷書で戸籍上の氏名を記入し、フリガナを付けてください。フリガナは、カタカナで1コマ1字ずつ記入してください。濁点「゛」、半濁点「゜」は1コマを使用し、姓と名の間は1コマ空けてください。
 - 性別は、該当事項を○で囲んでください。
 - 生年月日を記入してください。
- (3) **出願資格**
 - 高等学校等の所在都道府県名を記入してください。
 - 「国立」「公立」「私立」「認定（検定）」「その他」のいずれか該当するものを○で囲み、高等学校等名を記入してください。（「認定（検定）」「その他」を○で囲んだ者は記入する必要はありません。）
 - 「卒業見込み」「卒業」「認定（検定）合格」のいずれか該当するものを○で囲み、その年月日を記入してください。
- (4) **志望学部**
 - 志望学部欄は、志望する学部のコード番号を○で囲んでください。
- (5) **志望学科・課程、選修**（志望学部欄で○を付けた学部の欄から志望学科等を選んでください。）
 - **文化教育学部志願者**は、志望する課程、選修のコード番号を○で囲んでください。なお、学校教育課程教育学選修・教育心理学選修、障害児教育選修、教科教育選修、理科選修及び人間環境課程を志望した者は、選択科目1の選択する科目のコード番号を、美術・工芸課程を志望した者は、選択科目2の選択する科目のコード番号を○で囲んでください。
 - **経済学部志願者**は、第1・第2志望それぞれ違う課程のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。
 - **医学部志願者**は、志望する学科のコード番号を○で囲んでください。また、大学経験のある者は「在学中」「卒業」「中退」のいずれか該当するコード番号を○で囲んでください。
 - **理工学部志願者**は、第1・第2志望それぞれ違う学科のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。
受験する科目を○で囲んでください。2科目受験する場合は、それぞれ○で囲んでください。なお、1科目受験として出願した場合でも、試験当日2科目を受験することができます。また、2科目受験として出願した場合でも、試験当日1科目受験に変更できます。
 - **農学部志願者**は、第1・第2志望それぞれ違う学科のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。
- (6) **かささぎ奨学金希望欄**
 - かささぎ奨学金（65ページ参照）の希望の有無について、該当する番号に○印を付してください。
- (7) **現住所及び連絡先**
 - 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、楷書で正確に記入してください。
- (8) **写真票、受験票**
 - 氏名及び志望する学部、学科・課程、選修名を所定の欄に記入してください。
 - 上半身脱帽正面向で3か月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り、その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。
- (9) **検定料振込証明台紙**
 - 氏名及び志望する学部・学科等を記入の上、「C票 検定料振込証明書」を所定の欄に貼付してください。
- (10) **住所届（前期日程用）**
 - 前期日程用の住所届に記入し、提出してください。合格通知書は、住所届に記載された現住所に送付しますので、楷書で正確に記入してください。

18 入学志願票等の記入上の注意及び記入例（後期日程用）

- (1) 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が黒のボールペン等を使用し、楷書で記入してください。
- (2) 志望学部、学科・課程、選択科目欄は、該当するコードを○で囲んでください。
- (3) ※印欄は、記入しないでください。

平成24年度佐賀大学入学志願票（後期日程用）

- 募集要項58,59ページの「記入上の注意及び記入例（後期日程用）」をよく読んで記入してください。
- 裏面に平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄がありますので、各自確認してください。
- 太線内は全部記入してください。

受付番号				受験番号			
※				※			

志望学部									
文化教育学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部					
1	2	5	③	4					

(記入上の注意)
黒のボールペン等を使用して記入してください。
志望学部、学科・課程、選択科目欄は該当するコードを○で囲んでください。

文化教育学部志願者の志望課程・選択科目2									
第1志望									
学校教育心理学	障害児教育	教科教育	理科	数学	音楽	国際文化課程	人間環境課程	美術工芸課程	美術・工芸
01	02	03	04	05	06	07	08	09	A B

経済学部志願者の志望課程			
第1志望		第2志望	
経済システム課程	経済法律課程	経済システム課程	経済法律課程
01	02	01	02

医学部志願者の志望学科	
医学科	看護学科
01	02

大学経験		
在学中	卒業	中退
01	02	03

理工学部志願者の志望学科									
第1志望							第2志望		
数理科学	物理科学	知能情報科学	機械工学	化学工学	電気電子	都市工学	数理科学	物理科学	知能情報科学
①	02	03	04	05	06	07	01	02	03

農学部志願者の志望学科					
第1志望			第2志望		
応用生物	生物環境	生命科学	応用生物	生物環境	生命科学
01	02	03	01	02	03

調査書		
学習成績概評	評定平均値	
※	※	※

日程の種類	
後期	日程
4	

後	
平成24センター試験成績請求票 国公立後期日程用 貼付欄 はがれないように裏の全面にのり付けしてください。	

フリガナ	
氏名	佐賀花子
性別	男・④
生年月日	昭和5年9月1日 平成
出願資格	高校所在 佐賀県 都道府県 国立 公立 認定 (検定) 私立 佐賀 高等学校 その他 昭和24年3月 卒業見込み 平成 卒業認定合格 (検定)

郵便番号	
〒	849-0923

住所	
佐賀県佐賀市日の出1丁目 2-3-45	

連絡先	
電話	(0952) 28-8178
携帯	090-0000-0000

保護者等の氏名及び連絡先	
フリガナ氏名	サガ太郎
電話	市外局番 (0952) 28-8178

入学志願票等の記入上の注意について（後期日程用）

(1) 大学入試センター試験成績請求票

- 平成24センター試験成績請求票国公立後期日程用貼付欄には、大学入試センター発行の「**国公立後期日程用**」をはがれないように裏の全面にのり付けし、貼り付けてください。

(2) 氏名・性別及び生年月日

- 氏名は、楷書で戸籍上の氏名を記入し、フリガナを付けてください。フリガナは、カタカナで1コマ1字ずつ記入してください。濁点「゛」、半濁点「゜」は1コマを使用し、姓と名の間は1コマ空けてください。
- 性別は、該当事項を○で囲んでください。
- 生年月日を記入してください。

(3) 出願資格

- 高等学校等の所在都道府県名を記入してください。
- 「国立」「公立」「私立」「認定（検定）」「その他」のいずれか該当するものを○で囲み、高等学校等名を記入してください。（「認定（検定）」「その他」を○で囲んだ者は記入する必要はありません。）
- 「卒業見込み」「卒業」「認定（検定）合格」のいずれか該当するものを○で囲み、その年月日を記入してください。

(4) 志望学部

- 志望学部欄は、志望する学部のコード番号を○で囲んでください。

(5) 志望学科・課程、選修（志望学部欄で○を付けた学部の欄から志望学科等を選んでください。）

- 文化教育学部志願者は、志望する課程、選修のコード番号を○で囲んでください。美術・工芸課程を志望した者は、選択科目2の選択する科目のコード番号を○で囲んでください。
- 経済学部志願者は、第1・第2志望それぞれ違う課程のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。
- 医学部志願者は、志望する学科のコード番号を○で囲んでください。また、大学経験のある者は「在学中」「卒業」「中退」のいずれか該当するコード番号を○で囲んでください。
- 理工学部志願者は、第1・第2志望それぞれ違う学科のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。
- 農学部志願者は、第1・第2志望それぞれ違う学科のコード番号を○で囲んでください。第2志望がない場合は記入しないでください。

(6) 現住所及び連絡先

- 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、楷書で正確に記入してください。

(7) 写真票、受験票

- 氏名及び志望する学部、学科・課程、選修名を所定の欄に記入してください。
- 上半身脱帽正面向で3か月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り、その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。

(8) 検定料振込証明台紙

- 氏名及び志望する学部・学科等を記入の上、「C票 検定料振込証明書」を所定の欄に貼付してください。

(9) 住所届（後期日程用）

- 後期日程用の住所届に記入し、提出してください。合格通知書は、住所届に記載された現住所に送付しますので、楷書で正確に記入してください。

19 請求により本人に開示される個人情報

＊成績及び調査書は、受験者本人の申し出に限り開示します。

開 示 種 類	平成24年度入学試験成績〔大学入試センター試験及び個別学力検査等〕(書留にて郵送) 及び調査書 (閲覧のみ)
申 請 期 間	平成24年 5 月 1 日(火)から平成24年 5 月31日(木)まで (必着)
受 付 時 間	9 : 00～17 : 00 (土曜, 日曜, 祝日を除きます。)
申 請 者	受験者本人に限ります。
申 請 方 法	下記方法により, 本学所定の申請書に必要事項を記入の上, 申請してください。 なお, 電話及び代理人による申請は認めません。 1 直接来学 2 郵送 (最初に申請書の請求をし, 申請書を送付ください。)
申 請 書 の 求	郵送による開示を申請する場合は, 最初に申請書の請求が必要になります。本学宛の封筒の表面に, 「入試情報開示申請書請求」と朱書し, 返信用封筒 (郵送先を明記し80円切手を貼付したもの。) を同封の上, 学務部入試課に請求してください。申請書の請求は, 代理人でも可能です。 また, 申請書は入試関係HP (http://www.sao.saga-u.ac.jp/) から取得できます。
申請に際し必要なもの	1 本学受験票……紛失の際は, 写真入りの公的身分証明書等を持参してください。その際も受験番号は明確にする必要があります。なお, 受験票は成績郵送の際等に返却します。 2 返信用封筒 (長形 3 号500円切手を貼ったもの) ……調査書のみの開示請求については, 不要です。 3 印鑑 (申請書に押印) 【記載方法は申請書 (別紙様式 1 の (注)) を参照ください。】
開 示 内 容	○入学試験成績 ・当該年度のみ開示 ・文化教育学部, 経済学部, 理工学部及び農学部については (1) 得点については, 大学入試センター試験の成績「科目毎」と個別学力検査等の成績を開示 (2) 順位については, 募集区分毎の総合点の順位を開示 ・医学部については (1) 前期日程 ㊦ 合格者には, 総点, 合格最高点, 合格最低点及び合格平均点を開示する。 ㊧ 不合格者には, 合格最高点, 合格最低点及び合格平均点を開示する。また, 合格最低点との得点差をランク別 (それぞれのランクの合計人数を含む) に開示する。 (2) 後期日程 ㊦ 合格者には, 総点, 合格最高点, 合格最低点及び合格平均点を開示する。 ㊧ 不合格者には, 合格最高点, 合格最低点及び合格平均点を開示する。また, 合格最低点との得点差をランク別 (それぞれのランクの合計人数を含む) に開示する。 前期日程・後期日程ともに第 1 段階選抜不合格者には開示しません。 ・受験者本人へ後日書留で送付します。 ○調査書 ・当該年度のみ開示 ・「指導上参考となる諸事項」と, 「備考欄」を除き窓口で閲覧
開示手続期間	申請受付から発送まで, 3 週間程度かかりますので御了承ください。

(個人情報の取扱いについて)

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い, 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については, 入学者選抜に係る業務 (統計処理などの付随する業務を含む。) 以外に, 教育目的等 (入学料・授業料免除, (入学料徴収猶予) 及び奨学金等を含む。) に利用します。

※本学が取得した個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き, 出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

20 過去3か年の志願者等状況

平成21年度 佐賀大学

学部	課程・学科, 選修	募集人員		志願者 A			受験者 B			合格者 C			倍率(B/C)		入学者 D		
		前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計
文化教育学部	教育学選修 教育心理学選修	14	6	36	44	80	32	15	47	18	9	27	1.8	1.7	13	8	21
	障害児教育選修	6	3	18	20	38	18	9	27	8	4	12	2.3	2.3	7	4	11
	教科教育選修	23	8	76	89	165	73	45	118	26	9	35	2.8	5.0	24	8	32
	理科選修	5	2	24	27	51	23	14	37	6	3	9	3.8	4.7	5	3	8
	数学選修	5	2	23	17	40	23	7	30	6	2	8	3.8	3.5	6	1	7
	音楽選修	—	3	—	23	23	—	14	14	—	3	3	—	4.7	—	2	2
	国際文化課程	40	14	171	109	280	168	51	219	51	21	72	3.3	2.4	41	13	54
	人間環境課程	35	12	96	115	211	93	38	131	46	16	62	2.0	2.4	40	11	51
	美術・工芸課程	19	7	62	69	131	61	43	104	20	8	28	3.1	5.4	20	7	27
	小計	147	57	506	513	1,019	491	236	727	181	75	256	2.7	3.1	156	57	213
経済学部	経済システム課程	135	40	372	220	592	360	69	429	130	44	174	2.8	1.6	97	32	129
	経営・法律課程		40	318	297	615	299	98	397	90	46	136	3.3	2.1	70	31	101
	小計	135	80	690	517	1,207	659	167	826	220	90	310	3.0	1.9	167	63	230
医学部	医学科	53	20	233	222	455	217	121	338	53	20	73	4.1	6.1	53	18	71
	看護学科	32	5	85	96	181	80	42	122	34	5	39	2.4	8.4	32	4	36
	小計	85	25	318	318	636	297	163	460	87	25	112	3.4	6.5	85	22	107
理工学部	数理科学科	24	6	69	29	98	65	11	76	30	8	38	2.2	1.4	27	4	31
	物理科学科	32	8	90	36	126	87	12	99	40	9	49	2.2	1.3	37	5	42
	知能情報システム学科	48	10	173	81	254	166	42	208	55	16	71	3.0	2.6	49	8	57
	機能物質化学科	62	16	217	84	301	212	48	260	80	16	96	2.7	3.0	77	8	85
	機械システム工学科	68	17	162	103	265	160	53	213	78	34	112	2.1	1.6	70	20	90
	電気電子工学科	69	17	221	86	307	217	38	255	85	25	110	2.6	1.5	76	19	95
	都市工学科	61	15	160	105	265	156	45	201	75	18	93	2.1	2.5	70	6	76
	小計	364	89	1,092	524	1,616	1,063	249	1,312	443	126	569	2.4	2.0	406	70	476
農学部	応用生物科学科	25	10	102	86	188	100	53	153	32	21	53	3.1	2.5	25	12	37
	生物環境科学科	30	15	125	104	229	123	58	181	45	15	60	2.7	3.9	41	12	53
	生命機能科学科	30	5	134	59	193	130	32	162	33	9	42	3.9	3.6	30	8	38
	小計	85	30	361	249	610	353	143	496	110	45	155	3.2	3.2	96	32	128
合計		816	281	2,967	2,121	5,088	2,863	958	3,821	1,041	361	1,402	2.8	2.7	910	244	1,154

平成22年度 佐賀大学

学部	課程・学科，選修		募集人員		志 願 者 A			受 験 者 B			合 格 者 C			倍率(B/C)		入 学 者 D		
			前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計
文化 教育 学部	学校 教育 課程	教 育 学 選 修 教 育 心 理 学 選 修	14	6	52	51	103	51	23	74	18	6	24	2.8	3.8	16	6	22
		障 害 児 教 育 選 修	6	3	19	75	94	19	39	58	8	4	12	2.4	9.8	7	3	10
		教 科 教 育 選 修	23	8	48	65	113	47	27	74	28	8	36	1.7	3.4	27	7	34
		理 科 選 修	5	2	10	13	23	10	7	17	6	2	8	1.7	3.5	6	2	8
		数 学 選 修	5	2	34	23	57	32	14	46	6	3	9	5.3	4.7	5	3	8
		音 楽 選 修	—	3	—	19	19	—	10	10	—	4	4	—	2.5	—	4	4
	国 際 文 化 課 程	40	14	92	78	170	89	29	118	52	15	67	1.7	1.9	45	9	54	
	人 間 環 境 課 程	35	12	112	136	248	111	57	168	46	12	58	2.4	4.8	39	7	46	
	美 術 ・ 工 芸 課 程	19	7	51	51	102	49	28	77	20	7	27	2.5	4.0	20	7	27	
	小 計	147	57	418	511	929	408	234	642	184	61	245	2.2	3.8	165	48	213	
経 済 学 部	経 済 シ ス テ ム 課 程	135	40	166	305	471	160	106	266	111	54	165	1.4	2.0	87	38	125	
	経 営 ・ 法 律 課 程		40	101	272	373	97	87	184	78	53	131	1.2	1.6	65	31	96	
	小 計	135	80	267	577	844	257	193	450	189	107	296	1.4	1.8	152	69	221	
医 学 部	医 学 科	55	21	196	244	440	178	128	306	55	20	75	3.2	6.4	55	20	75	
	看 護 学 科	32	5	112	69	181	106	33	139	34	3	37	3.1	11.0	32	3	35	
	小 計	87	26	308	313	621	284	161	445	89	23	112	3.2	7.0	87	23	110	
理 工 学 部	数 理 科 学 科	24	6	50	45	95	49	13	62	31	9	40	1.6	1.4	27	3	30	
	物 理 科 学 科	32	8	107	35	142	105	14	119	40	14	54	2.6	1.0	35	5	40	
	知能情報システム学科	48	10	160	55	215	153	29	182	60	10	70	2.6	2.9	58	5	63	
	機 能 物 質 化 学 科	62	16	184	62	246	179	32	211	80	27	107	2.2	1.2	70	14	84	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	68	17	174	55	229	171	27	198	84	17	101	2.0	1.6	82	9	91	
	電 気 電 子 工 学 科	69	17	224	76	300	220	28	248	84	17	101	2.6	1.6	82	10	92	
	都 市 工 学 科	61	15	174	55	229	168	21	189	75	15	90	2.2	1.4	68	7	75	
	小 計	364	89	1,073	383	1,456	1,045	164	1,209	454	109	563	2.3	1.5	422	53	475	
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科	25	10	94	174	268	90	95	185	32	15	47	2.8	6.3	30	10	40	
	生 物 環 境 科 学 科	30	15	126	129	255	122	71	193	40	17	57	3.1	4.2	33	11	44	
	生 命 機 能 科 学 科	30	5	128	109	237	126	48	174	34	7	41	3.7	6.9	31	6	37	
	小 計	85	30	348	412	760	338	214	552	106	39	145	3.2	5.5	94	27	121	
合 計			818	282	2,414	2,196	4,610	2,332	966	3,298	1,022	339	1,361	2.3	2.8	920	220	1,140

平成23年度 佐賀大学

学部	課程・学科，選修		募集人員		志 願 者 A			受 験 者 B			合 格 者 C			倍率(B/C)		入 学 者 D		
			前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計
文化 教育 学部	学校 教育 課程	教 育 学 選 修 教 育 心 理 学 選 修	14	6	39	42	81	38	17	55	18	6	24	2.1	2.8	15	4	19
		障 害 児 教 育 選 修	6	3	24	45	69	24	26	50	8	3	11	3.0	8.7	8	2	10
		教 科 教 育 選 修	23	8	101	101	202	99	43	142	25	8	33	4.0	5.4	25	7	32
		理 科 選 修	5	2	13	35	48	13	16	29	6	2	8	2.2	8.0	5	2	7
		数 学 選 修	5	2	21	10	31	20	5	25	7	2	9	2.9	2.5	7	2	9
		音 楽 選 修	—	3	—	20	20	—	11	11	—	3	3	—	3.7	—	3	3
	国 際 文 化 課 程	40	14	122	119	241	120	51	171	49	18	67	2.4	2.8	42	13	55	
	人 間 環 境 課 程	35	12	61	82	143	59	30	89	43	13	56	1.4	2.3	39	12	51	
	美 術 ・ 工 芸 課 程	19	7	61	62	123	61	31	92	20	7	27	3.1	4.4	20	7	27	
	小 計	147	57	442	516	958	434	230	664	176	62	238	2.5	3.7	161	52	213	
	経 済 学 部	経 済 シ ス テ ム 課 程	135	40	221	232	453	213	77	290	126	50	176	1.7	1.5	90	32	122
経 営 ・ 法 律 課 程		40		157	246	403	154	83	237	79	40	119	1.9	2.1	71	21	92	
小 計		135	80	378	478	856	367	160	527	205	90	295	1.8	1.8	161	53	214	
医 学 部	医 学 科	51	20	229	323	552	204	156	360	51	20	71	4.0	7.8	51	19	70	
	看 護 学 科	32	5	87	59	146	84	22	106	36	6	42	2.3	3.7	32	5	37	
	小 計	83	25	316	382	698	288	178	466	87	26	113	3.3	6.8	83	24	107	
理 工 学 部	数 理 科 学 科	24	6	68	38	106	66	18	84	30	6	36	2.2	3.0	29	4	33	
	物 理 科 学 科	32	8	57	84	141	53	47	100	40	8	48	1.3	5.9	36	5	41	
	知能情報システム学科	48	10	149	62	211	144	26	170	57	10	67	2.5	2.6	57	6	63	
	機 能 物 質 化 学 科	62	16	197	111	308	195	59	254	81	16	97	2.4	3.7	75	10	85	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	68	17	140	88	228	134	38	172	82	17	99	1.6	2.2	79	7	86	
	電 気 電 子 工 学 科	69	17	129	132	261	126	50	176	84	17	101	1.5	2.9	82	8	90	
	都 市 工 学 科	61	15	145	147	292	143	66	209	75	15	90	1.9	4.4	68	10	78	
	小 計	364	89	885	662	1,547	861	304	1,165	449	89	538	1.9	3.4	426	50	476	
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科	25	10	81	95	176	80	49	129	32	12	44	2.5	4.1	30	8	38	
	生 物 環 境 科 学 科	30	15	62	97	159	61	58	119	40	16	56	1.5	3.6	35	15	50	
	生 命 機 能 科 学 科	30	5	113	93	206	112	48	160	35	9	44	3.2	5.3	29	8	37	
	小 計	85	30	256	285	541	253	155	408	107	37	144	2.4	4.2	94	31	125	
合 計			814	281	2,277	2,323	4,600	2,203	1,027	3,230	1,024	304	1,328	2.2	3.4	925	210	1,135

21 入試情報の提供

インターネットによる入試情報の提供

佐賀大学入試関係ホームページ <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

項 目	提供開始時期（予定）	内 容
平成24年度一般入試募集 要項の請求受付	平成23年11月中旬から	ホームページ上で請求の受付
一般入試の志願者数及び 志 願 者 倍 率 速 報	平成24年 1 月25日(水) 17時頃から	学科・課程毎に，毎日最新のデータで更新
合 格 者 発 表 速 報	○前期日程 平成24年 3 月 6 日(火) 14時30分頃から ○後期日程 平成24年 3 月21日(水) 14時30分頃から	学部，学科・課程別の合格者受験番号の掲載 ※合格発表直後は，回線が大変込み合うため，接続に時間がかかる場合があります。 ※やむを得ない事態が生じた場合，ウェブサイトへの掲載を一時中断することがあります。
追 加 合 格 情 報	平成24年 3 月28日(水) 10時頃から	追加合格実施の有無及び追加合格を実施する場合は実施する学部，学科・課程等
そ の 他	常 時	各学部の案内等

22 佐賀大学予約型奨学金（かささぎ奨学金）について

本奨学金は、本学に強く入学を希望する学業優秀な者について、入学前の申請により入学試験合格後の奨学金受給を約束（予約型）するとともに、一定の条件の下に在学期間中も支援を継続することにより、愛校心に溢れた優れた人材を育成することを目的としたものです。

(1) 申請資格

次の条件の全てを満たす者

- ① 日本の高等学校若しくは中等教育学校を平成23年度に卒業見込みの者及び平成22年度中に卒業した者
- ② 一般入試（前期日程）を志願し、平成24年4月に本学に入学する予定の者で、本学に強く入学を希望する者
- ③ 本学入学後に奨学金の受給を希望する者

(2) 奨学金額

年額30万円（返還の必要はありません。）

(3) 給付期間

4年間（医学部医学科は6年間の継続支給）

※各学年の終期に学業成績、修学状況等による継続判定があります。

(4) 採用予定者数

7名程度

(5) 申請方法等

一般入試出願時に願書のかささぎ奨学金希望欄の該当する番号に○印を付して申請してください。

(6) 採用候補者の選考・決定

申請資格を満たしている申請者を対象に、入試成績により選考し決定します。

選考結果は、3月中旬（予定）に本人宛に通知します。

奨学生の内定を受けた方は、本学入学後に奨学生採用手続きをとることにより正式に採用が決定します。

(7) 奨学金授与式

大学入学後、奨学生採用者に別途お知らせします。

(8) その他

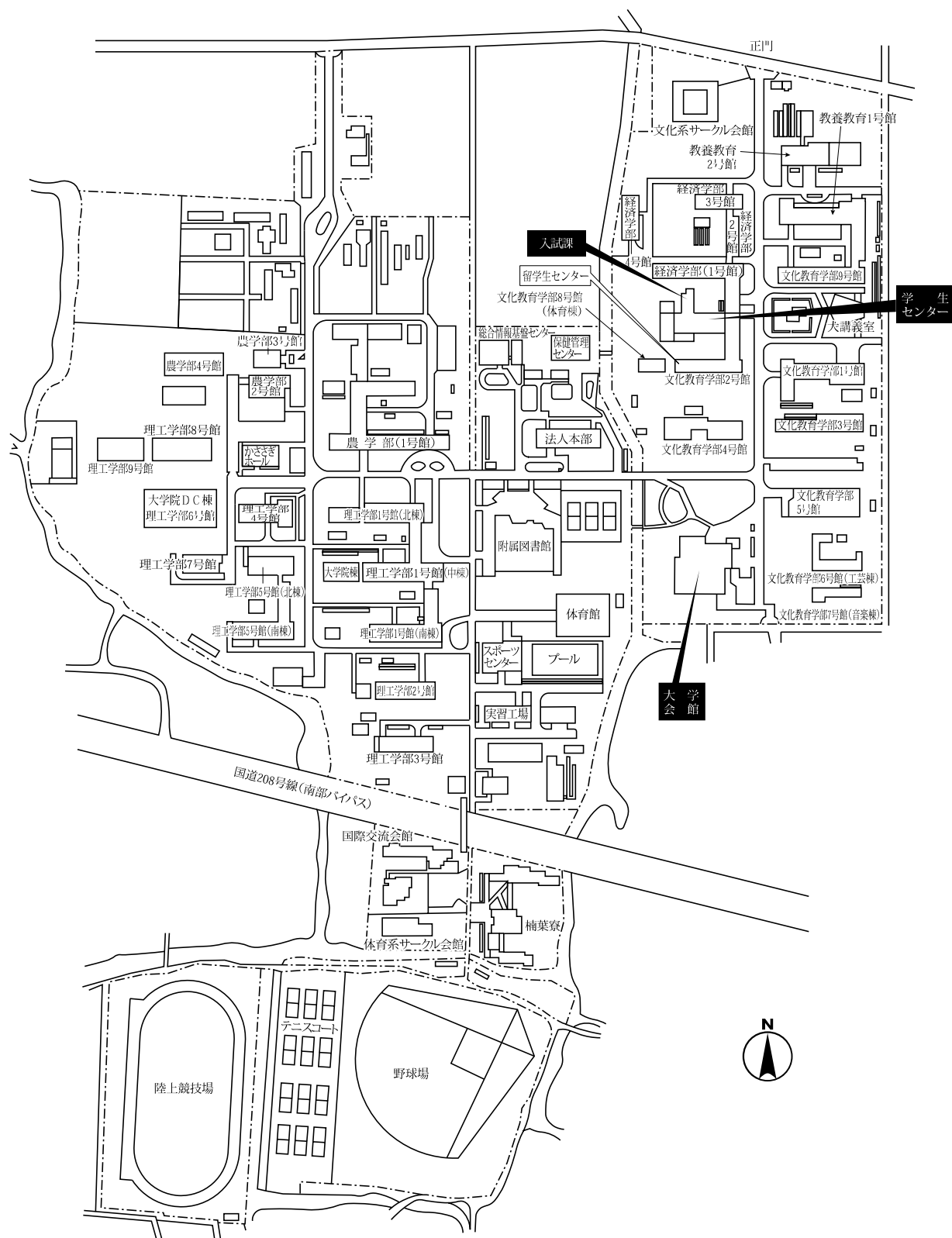
- ① 本奨学金の申請・選考は、入学試験の可否に全く影響しません。
- ② 本奨学金の申請に係る個人情報、奨学金業務に限定し利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

（連絡先）佐賀大学学務部学生生活課（月曜～金曜 8時30分～18時）
（電話）0952-28-8172 （FAX）0952-28-8948

Ⅳ 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

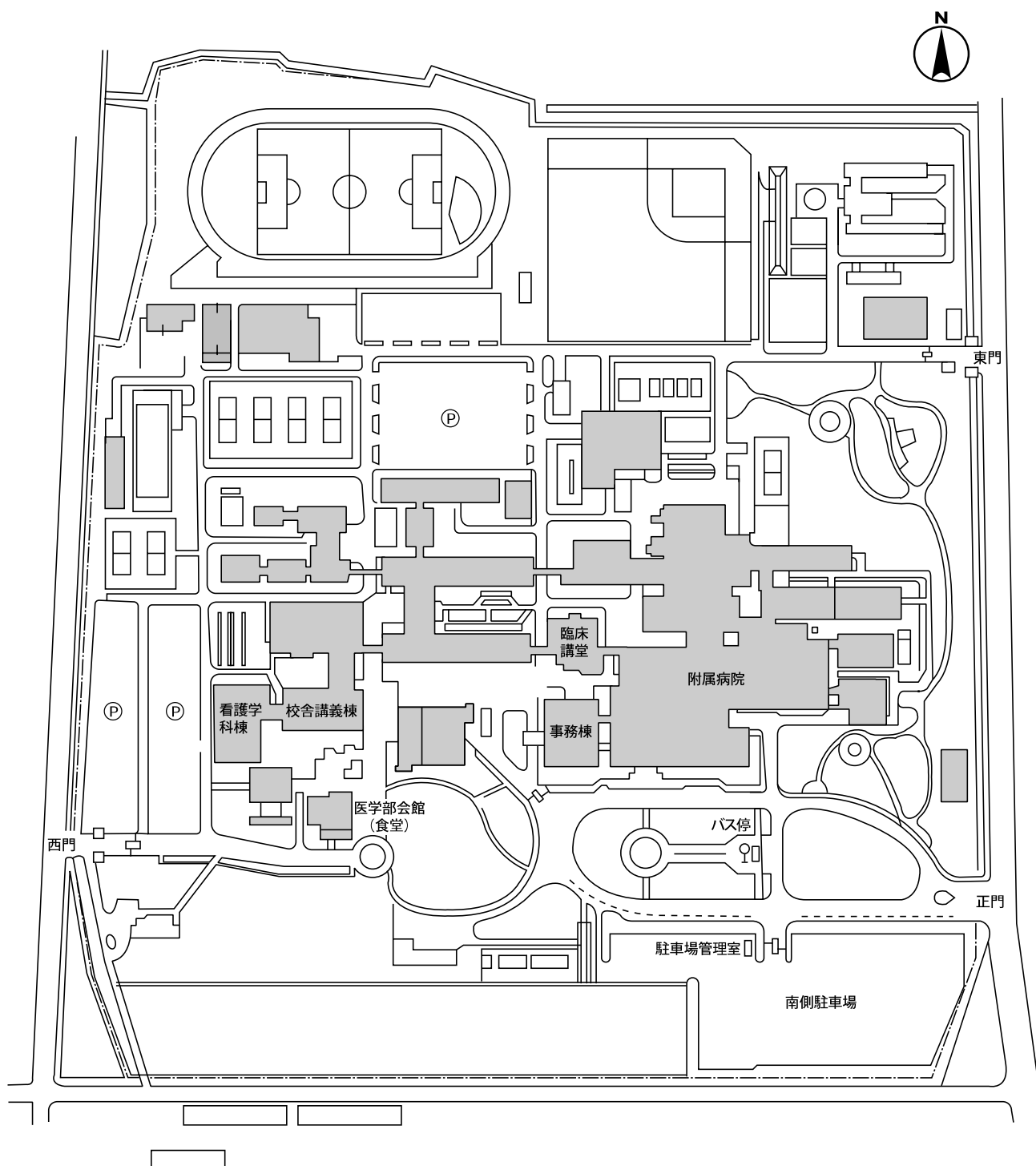
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

〔文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部〕

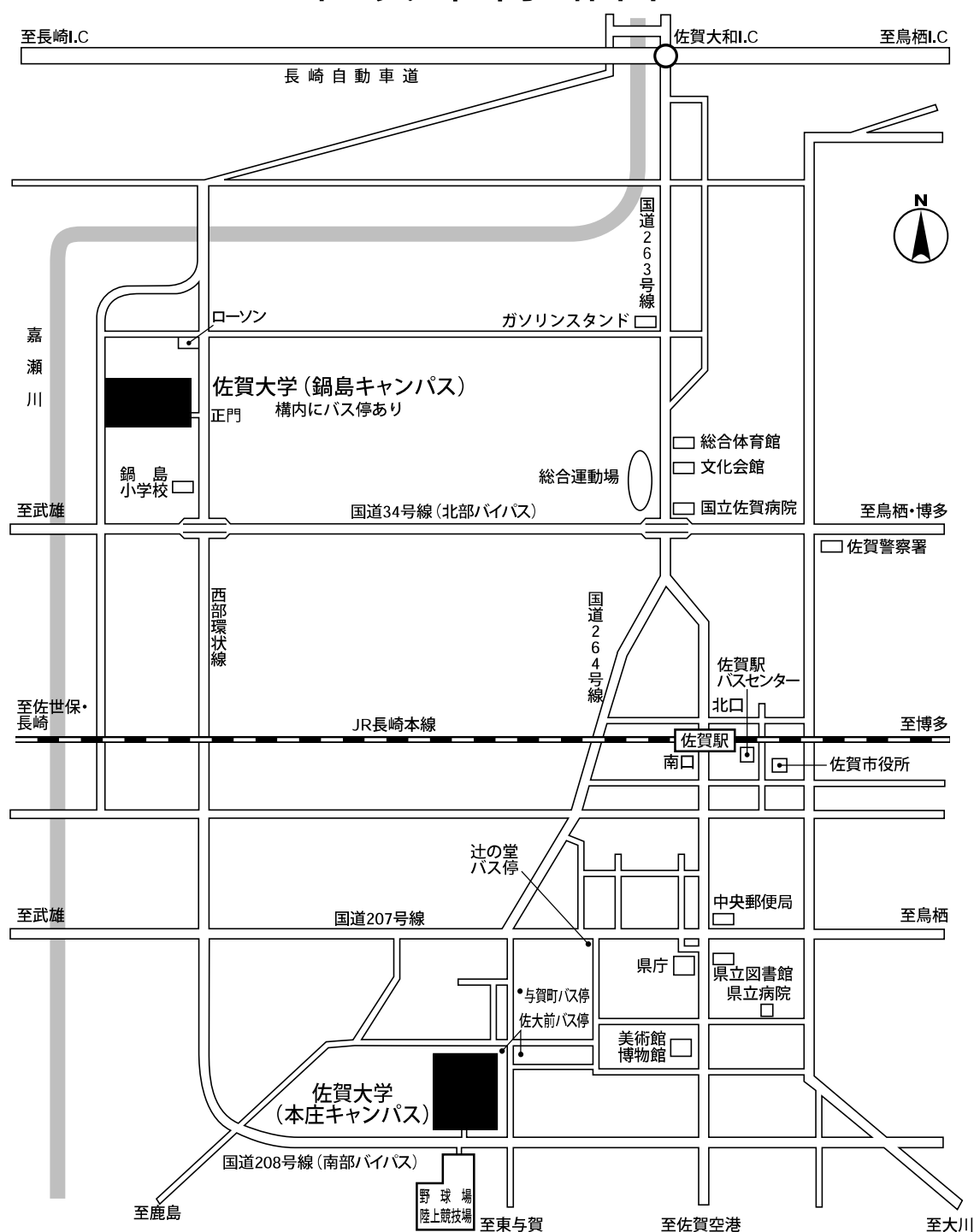


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

[医 学 部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス〔11〕佐賀大学・相応線、〔12〕佐賀大学・東与賀線、〔63〕佐賀大学・女子短大線で約20分、「佐大前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

※試験当日は、佐賀市営バスによる臨時バスが運行予定です。（本庄キャンパスのみ）

問い合わせ先 佐賀市営バス TEL0952-23-3155

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス〔50〕神野公園・佐大医学部線、〔51〕卸センター・佐大医学部線で約25分、終点「佐大医学部」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

※試験当日に自家用車で来た人は、正門から入って、南側駐車場に駐車してください。（佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図参照）
また、帰りの際は、駐車場管理室に受験のため来た旨を申し出て、無料措置を受けてください。

V 平成25年度以降の入学者選抜方法の変更〔予告〕

1 医学部入学者選抜方法の変更について

〈一般入試（前期日程）〉

年 度	学 科	個別学力検査等	
平成24年度	医 学 科	教科等	科目名等
		その他	総合問題 面接



年 度	学 科	個別学力検査等	
平成25年度以降	医 学 科	教科等	科目名等
		外国語	英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング
		数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
		理 科	物Ⅰ・物Ⅱ，化Ⅰ・化Ⅱ
		その他	面接

（注）大学入試センター試験の利用教科・科目については，変更ありません。

2 理工学部入学者選抜方法の変更について

〈一般入試（後期日程）〉

年 度	センター試験							個別学力検査														
平成24年度	<table><tr><td>国 語</td><td>地 歴</td><td>公 民</td><td>数 学</td><td>理 科</td><td>外国語</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>*100</td><td>*100</td><td>300</td><td>250</td><td>250</td><td>1000</td></tr></table>							国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計	100	*100	*100	300	250	250	1000	課さない
	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計															
	100	*100	*100	300	250	250	1000															
※配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。																						



年 度	センター試験（注１）	個別学力検査（注２）															
		学 科 名	試験科目														
平成25年度以降	<table border="1"><tr><td>国 語</td><td>地 歴</td><td>公 民</td><td>数 学</td><td>理 科</td><td>外国語</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>*50</td><td>*50</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>600</td></tr></table> ※配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計	100	*50	*50	150	150	150	600	数 理 科 学 科	数学
		国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計									
		100	*50	*50	150	150	150	600									
		物 理 科 学 科	物理														
		知 能 情 報 システム学科	数学 物理 } から１（注３）														
		機能物質化学科	化学														
		機 械 シ ス テ ム 工 学 科	数学														
		電気電子工学科	数学 物理 } から１（注３）														
都 市 工 学 科	物理																

（注1）センター試験の利用教科・科目については，平成25年度以降も変更ありません。

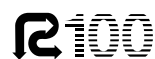
（注2）個別学力検査の各科目の配点は400点とします。

（注3）数学及び物理の2科目を受験した者については，高得点の科目の成績を用います。

本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用ください。



携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています。